
別冊

資料編
各種アンケート結果



1 圏域住民へのアンケート調査結果

(参考) 調査対象数と回収率

	対象 世帯数	調査票 配布件数	回収件数			回収率(%)	
			郵送回収	web回収	計	世帯数あたり	配布件数あたり
福知山市	2,200	6,600	614	186	800	36.4%	12.1%
舞鶴市	1,993	5,979	818	180	998	50.1%	16.7%
綾部市	1,000	3,000	403	59	462	46.2%	15.4%
宮津市	700	2,100	284	46	330	47.1%	15.7%
京丹後市	1,500	4,500	574	97	671	44.7%	14.9%
伊根町	200	600	91	17	108	54.0%	18.0%
与謝野町	800	2,400	355	83	438	54.8%	18.3%
合計	8,393	25,179	3,139	668	3,807	45.4%	15.1%

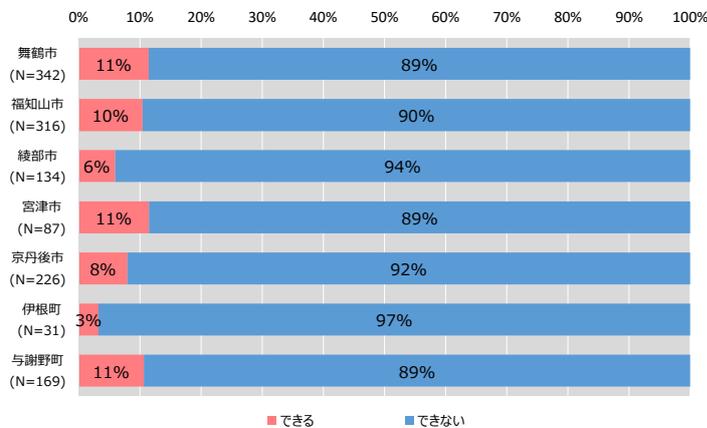
(1) 目的別の公共交通及び自動車の利用状況

本圏域住民の移動手段を見ると、どの構成市町も 70%弱から 80%以上の方が、送迎を含めて自家用車を利用しており、自家用車からバスへの転換も 80%以上の方ができないと回答しているなど、自家用車への依存度が高い地域となっています。また、移動範囲も中丹地域は中丹地域が主となっていますが、丹後地域は地域内だけではなく、中丹地域への移動も多くなっています。

○市町村別通勤・通学の主な交通手段

	徒歩	自転車	バイク・原付	自動車 (自分で運転)	自動車 (家族が送迎)	タクシー	バス	鉄道	その他
舞鶴市(N=449)	13%	22%	2%	64%	17%	1%	8%	9%	1%
福知山市(N=396)	14%	13%	2%	80%	6%	1%	4%	3%	1%
綾部市(N=162)	14%	13%	2%	79%	9%	1%	4%	2%	0%
宮津市(N=116)	14%	9%	0%	76%	6%	0%	4%	3%	1%
京丹後市(N=281)	9%	8%	2%	81%	7%	0%	6%	1%	0%
伊根町(N=37)	11%	8%	3%	84%	5%	0%	5%	0%	0%
与謝野町(N=205)	11%	8%	2%	82%	8%	0%	6%	0%	0%

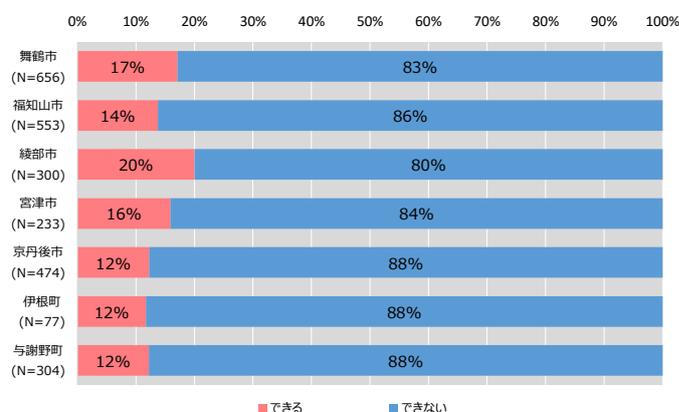
○市町村別通勤・通学目的での自家用車利用者のバス代替可能性



○市町村別買い物先への主な交通手段

	徒歩	自転車	バイク・原付	自動車 (自分で運転)	自動車 (家族が送迎)	タクシー	バス	鉄道	その他
舞鶴市(N=811)	17%	21%	1%	67%	24%	3%	4%	1%	1%
福知山市(N=675)	17%	16%	3%	76%	15%	2%	6%	1%	1%
綾部市(N=374)	12%	14%	1%	75%	12%	1%	8%	2%	0%
宮津市(N=282)	11%	16%	1%	78%	13%	2%	6%	1%	0%
京丹後市(N=563)	7%	9%	2%	80%	14%	1%	5%	1%	0%
伊根町(N=90)	3%	3%	1%	80%	14%	0%	9%	0%	1%
与謝野町(N=363)	10%	12%	3%	75%	17%	1%	1%	0%	0%

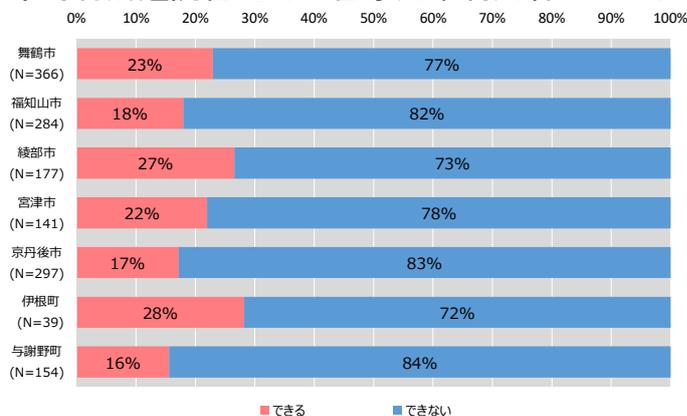
○市町村別買い物目的での自家用車利用者のバス代替可能性



○市町村別通院先への主な交通手段

	徒歩	自転車	バイク・原付	自動車 (自分で運転)	自動車 (家族が送迎)	タクシー	バス	鉄道	その他
舞鶴市(N=479)	11%	14%	1%	61%	27%	6%	9%	1%	2%
福知山市(N=388)	13%	12%	3%	66%	18%	6%	12%	2%	2%
綾部市(N=245)	8%	10%	0%	65%	16%	3%	21%	3%	1%
宮津市(N=188)	15%	12%	1%	67%	20%	5%	10%	3%	0%
京丹後市(N=374)	6%	5%	2%	71%	20%	3%	11%	1%	2%
伊根町(N=57)	2%	2%	2%	61%	23%	2%	37%	0%	2%
与謝野町(N=210)	8%	11%	3%	61%	22%	4%	6%	0%	3%

○市町村別通院目的での自家用車利用者のバス代替可能性



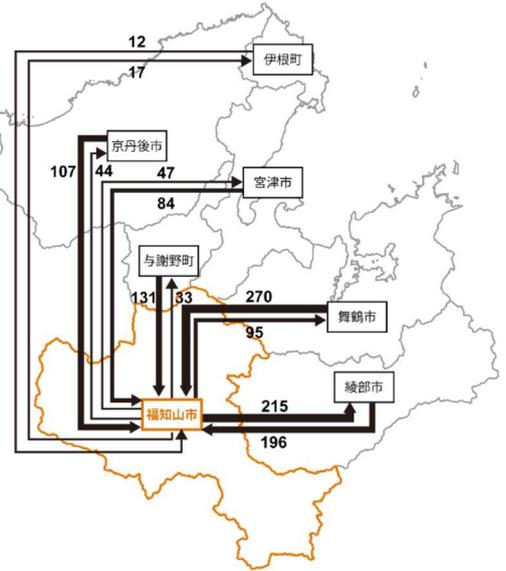
(2) 圏域内市町間の移動状況

① 福知山市の移動の状況

福知山市は綾部市と舞鶴市との行き来が多い。舞鶴市と与謝野町については、福知山市から流出する人より流入する人の数が多い。移動目的は「買い物」が最も多く、通勤・通学での移動は比較的少ない。他市町への利用交通手段は大半が自家用車であり、バスへの代替はできないとの回答が多い。

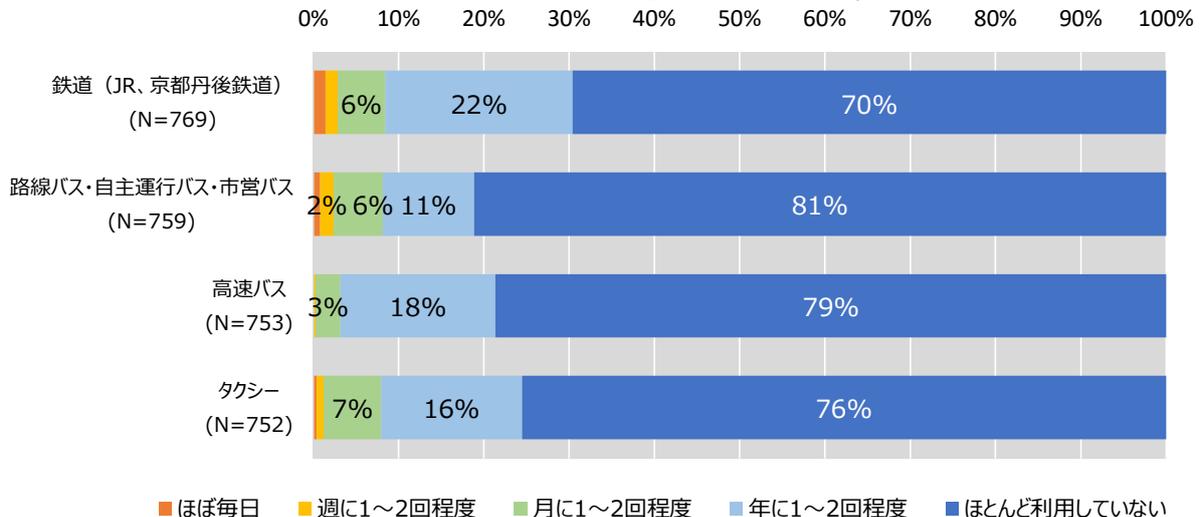
○ 京都府北部地域市町間の移動状況

	舞鶴市	綾部市	宮津市	京丹后市	伊根町	与謝野町
外出する	95	215	47	44	17	33
通勤・通学	16	33	1	3	0	1
出張・仕事・商用	21	26	10	9	4	10
買い物	20	69	6	3	1	3
通院	4	23	0	0	0	0
観光・レジャー	9	18	22	18	11	10
その他	31	54	10	11	2	8
不明無回答	2	12	1	2	0	2
頻度						
週5回以上	13	31	1	2	0	1
週3~4回	5	14	1	1	0	0
週1~2回	14	38	6	4	3	4
月に数回程度	27	59	11	13	3	11
それ未満	31	60	25	22	9	14
不明無回答	5	13	3	2	2	3
利用交通手段						
徒歩	2	1	2	0	0	0
自転車	3	5	0	0	0	0
バイク・原付	1	2	1	2	1	2
自動車(自分で運転)	70	178	33	34	12	22
自動車(家族が送迎)	16	26	10	9	4	8
タクシー	1	2	0	0	0	0
バス	2	4	0	0	0	0
鉄道	12	10	8	0	0	0
その他	4	3	1	2	2	2
不明無回答	1	4	3	2	0	3
バス代替						
できる	3	16	0	2	0	2
できない	71	175	37	35	14	22
不明無回答	6	6	1	2	1	2



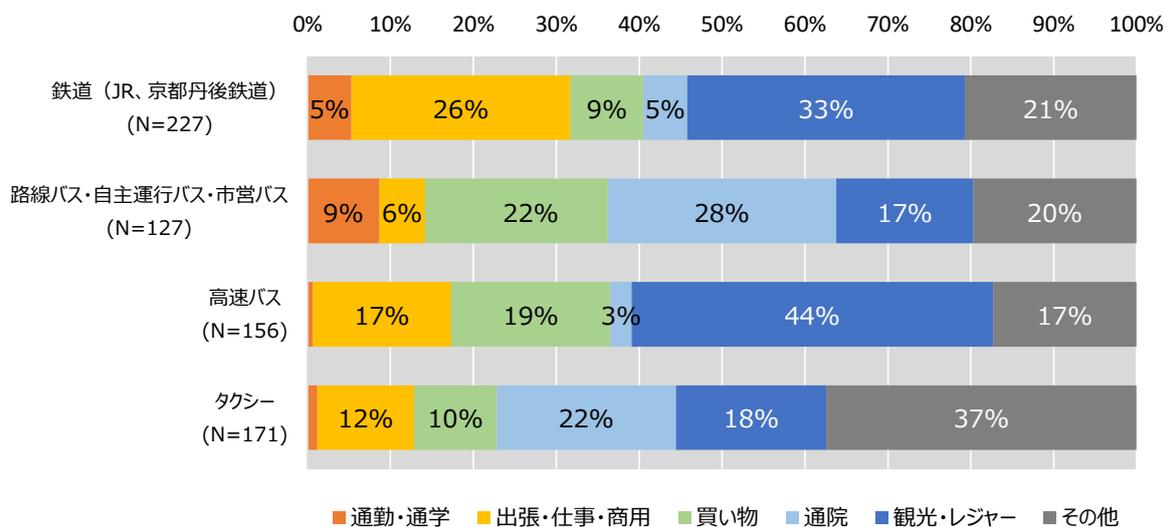
公共交通は鉄道、バス、タクシーともに「ほとんど利用していない」の割合が高いが、その中でも、鉄道の利用頻度は、「ほとんど利用していない」が70%と他の交通手段より低く、他の公共交通に比べて利用頻度が高い。路線バス、コミュニティバスは「ほとんど利用していない」が81%を占めており、高速バスは、「年に1~2回程度」の割合が18%と頻度は高くないが一定の利用者が存在している。

○ 福知山市の公共交通機関別の利用頻度



鉄道の利用目的は「観光・レジャー」が33%と最も高く、次いで「出張・仕事・商用」の26%の順となっており、通勤・通学の利用は5%にとどまっている。路線バス・コミュニティバスの利用目的は「通院」が28%と最も高く、次いで「買い物」の22%と続く。高速バスの利用目的は「観光・レジャー」が44%と最も高く、次いで「買い物」の19%の順となっている。

○福知山市の公共交通の利用目的

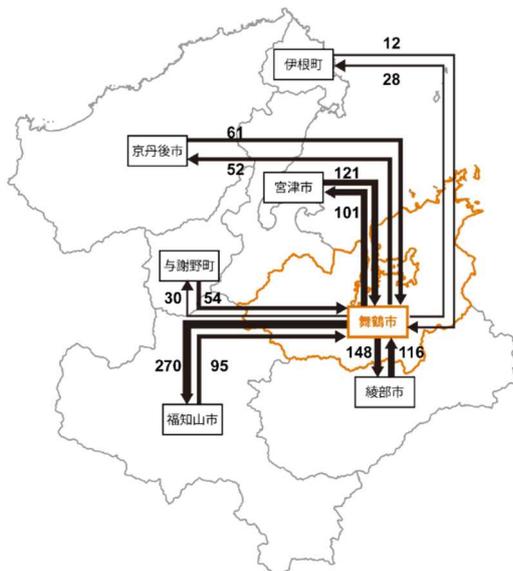


②舞鶴市の移動の状況

舞鶴市は、福知山市、綾部市、宮津市との行き来が多い。移動目的は「買い物」が最も多く、次いで、「通勤・通学」、「その他」となっている。他市町への利用交通手段は大半が「自家用車」であり、他市町への移動においてバスでの代替可能性は低い。

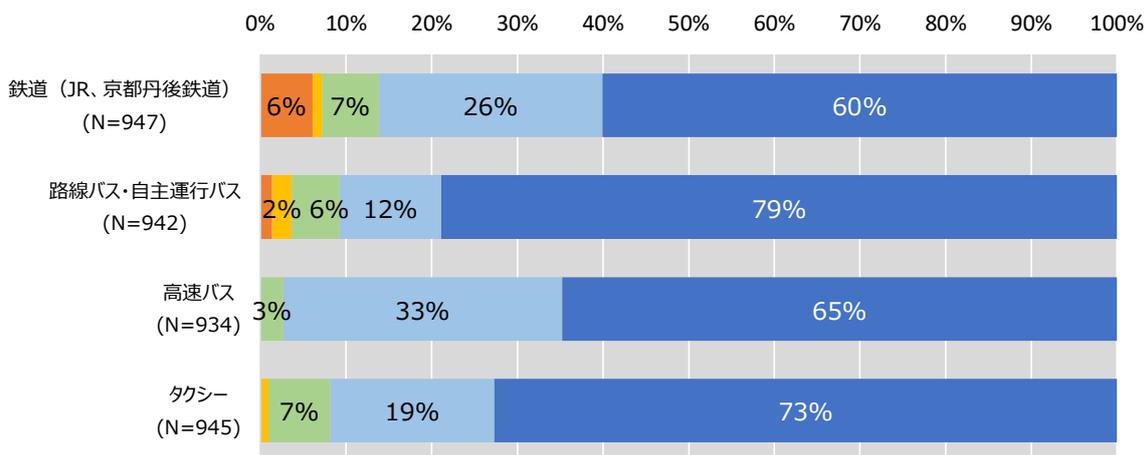
○京都府北部地域市町間の移動状況

	福知山市	綾部市	宮津市	京丹後市	伊根町	与謝野町
外出する	270	148	101	52	28	30
目的内訳						
通勤・通学	56	37	13	1	0	3
出張・仕事・商用	21	18	15	14	5	7
買い物	155	49	28	9	3	3
通院	18	6	2	3	0	6
観光・レジャー	13	10	25	15	13	7
その他	38	36	36	14	9	8
不明無回答	1	1	0	0	1	0
頻度						
週5回以上	56	40	11	1	0	3
週3~4回	11	3	7	1	0	0
週1~2回	17	16	8	3	0	3
月に数回程度	108	49	40	25	4	9
それ未満	76	38	35	22	23	14
不明無回答	2	2	0	0	1	1
利用交通手段						
徒歩	4	3	7	2	0	0
自転車	17	10	6	3	0	2
バイク・原付	3	4	2	0	1	0
自動車(自分で運転)	179	101	70	42	22	25
自動車(家族が送迎)	83	35	30	11	8	6
タクシー	1	0	0	0	0	1
バス	5	0	1	1	1	1
鉄道	37	19	14	3	2	2
その他	1	0	1	0	0	0
不明無回答	1	3	0	0	0	0
バス代替						
できる	28	15	6	7	4	5
できない	207	110	80	41	20	21
不明無回答	13	5	7	2	4	2



公共交通は鉄道、バス、タクシーともに「ほとんど利用していない」の割合が高い。そのうち、鉄道の利用頻度は、「ほぼ毎日」や「月に1~2回程度」の割合が高く、一定のヘビーユーザーが確認できる。路線バス・自主運行バス・市営バスは鉄道より頻度は少なくなるが、高速バスやタクシーよりは利用頻度は高い。高速バスは、「年に1~2回程度」の割合が高く、頻度は高くはないものの一定の利用者が存在していることが確認できる。

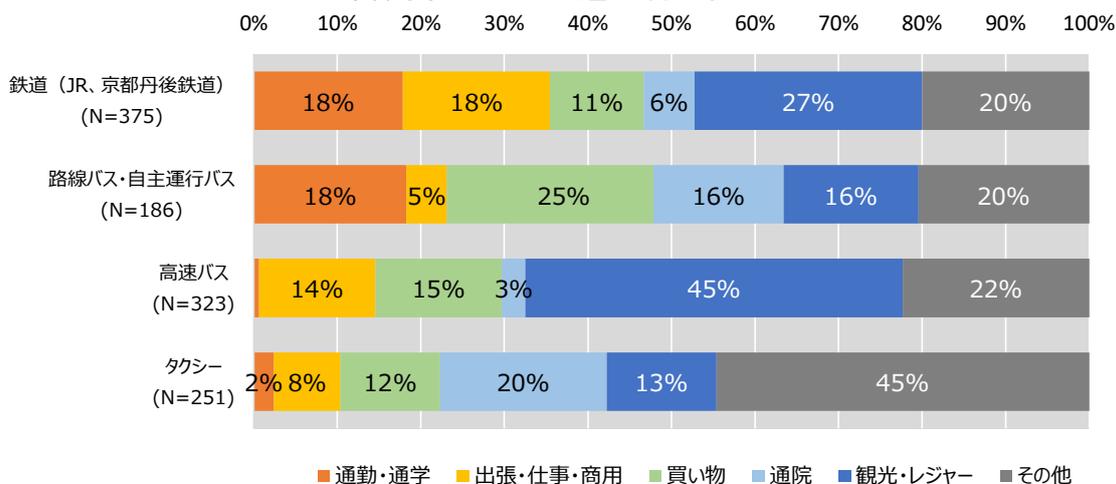
○舞鶴市の公共交通機関別の利用頻度



■ ほぼ毎日 ■ 週に1~2回程度 ■ 月に1~2回程度 ■ 年に1~2回程度 ■ ほとんど利用していない

鉄道の利用目的は「観光・レジャー」が27%と最も高く、次いで「通勤・通学」と「出張・仕事・商用」の18%となる。路線バス・自主運行バスは「買い物」が25%と最も高く、次いで「通勤・通学」の18%と続く。高速バスは、「観光・レジャー」が45%と最も高い。「タクシー」はその他の目的が45%と最も高く、特定の目的にとられない多様な利用が多いといえる。

○舞鶴市の公共交通の利用目的



■ 通勤・通学 ■ 出張・仕事・商用 ■ 買い物 ■ 通院 ■ 観光・レジャー ■ その他

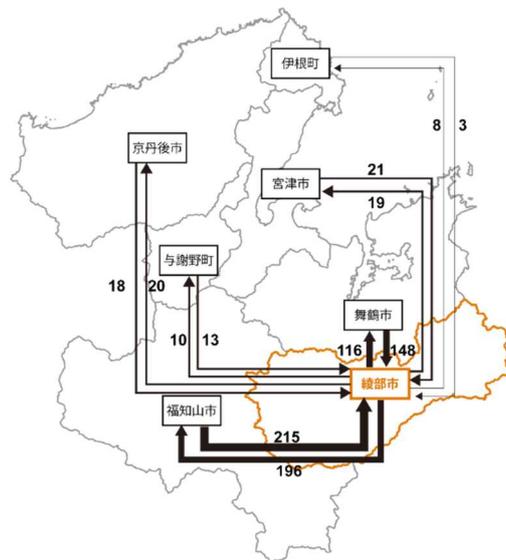


③綾部市の移動の状況

綾部市は福知山市との行き来が最も多く、次いで多いのは舞鶴市である。その他の宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町への移動量は少ない。移動目的は「買い物」が最も多く、他市町への利用交通手段は大半が自家用車であり、バスへの代替できないとの回答が多い。

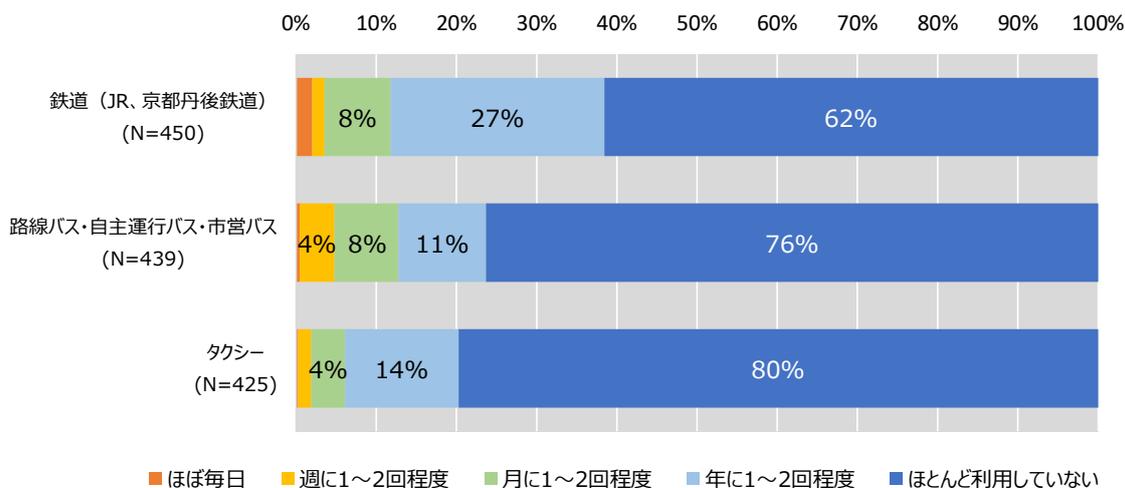
○京都府北部地域市町間の移動状況

	福知山市	舞鶴市	宮津市	京丹後市	伊根町	与謝野町
外出する	196	116	19	20	8	10
目的内訳						
通勤・通学	37	13	0	1	0	0
出張・仕事・商用	15	15	7	5	2	5
買い物	97	52	5	5	1	0
通院	31	22	0	0	0	0
観光・レジャー	7	8	3	5	6	2
その他	36	20	5	8	1	2
不明無回答	6	2	1	0	0	1
頻度						
週5回以上	38	13	0	1	0	0
週3～4回	9	1	0	0	0	0
週1～2回	30	13	2	3	0	2
月に数回程度	77	48	8	8	2	2
それ未満	38	41	9	7	6	5
不明無回答	4	0	0	1	0	1
利用交通手段						
徒歩	2	4	0	0	0	0
自転車	6	5	0	0	0	0
バイク・原付	1	0	0	0	0	0
自動車（自分で運転）	149	87	15	17	7	8
自動車（家族が送迎）	27	17	4	2	2	2
タクシー	2	1	0	0	0	0
バス	7	2	0	1	0	0
鉄道	19	14	1	2	0	1
その他	1	3	0	0	0	0
不明無回答	2	0	0	0	0	0
バス代替						
できる	24	10	2	1	1	1
できない	132	88	15	15	7	8
不明無回答	12	2	1	2	0	1



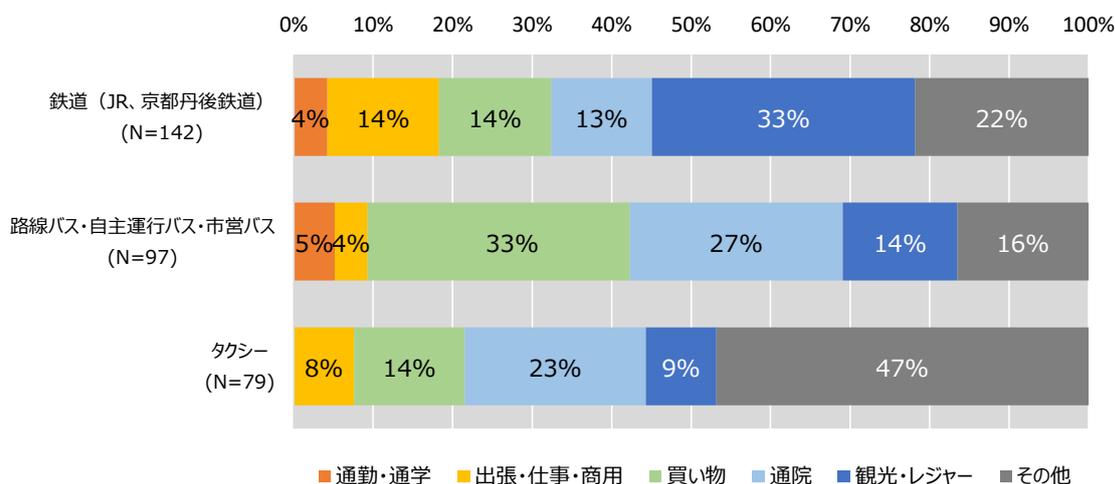
公共交通は鉄道、バス、タクシーとともにも「ほとんど利用していない」の割合が高く、日常的に利用されていない状況である。その中でも、鉄道の利用頻度は、「ほとんど利用していない」が62%であり、他の公共交通に比べて利用している人の割合が高い。

○綾部市の公共交通の利用頻度



鉄道の利用目的は「観光・レジャー」が33%と最も高く、次いで「通勤・通学」と「出張・仕事・商用」の14%となる。路線バス・自主運行バスでは「買い物」が33%と最も高く、次いで「通院」の27%と続く。「タクシー」はその他の目的が47%と最も高く、特定の目的にとらわれない多様な利用が多いといえる。

○綾部市の公共交通の利用目的

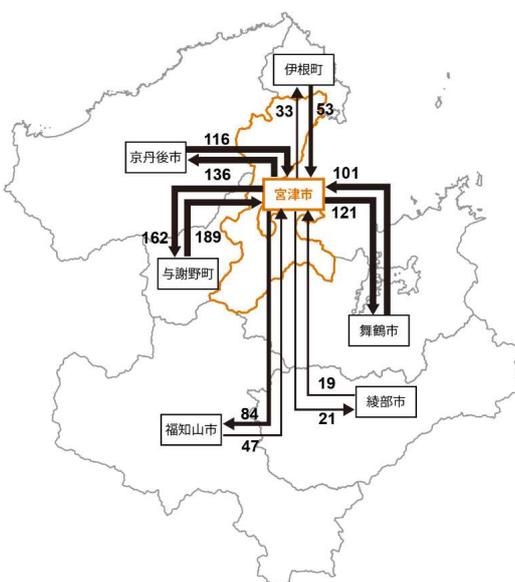


④宮津市の移動の状況

宮津市は、与謝野町との行き来が最も多く、サンプル数のおよそ半数が日常的に外出している。次いで、京丹後市、舞鶴市と続き、綾部市や伊根町への移動は少ない。他市町への移動目的は「買い物」が多く、「通勤・通学」での移動は少ない。他市町への利用交通手段は大半が自家用車となっている。

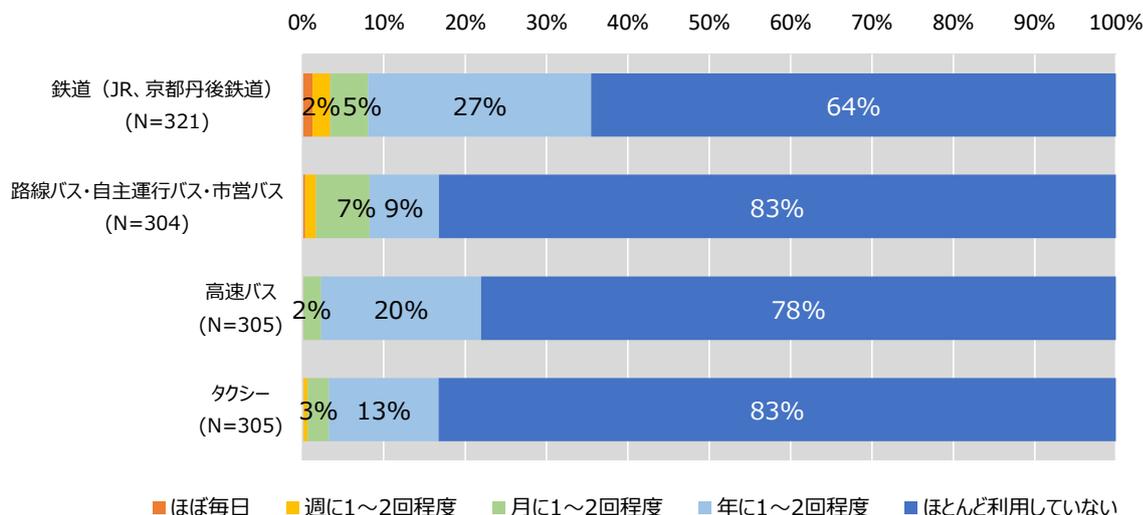
○京都府北部地域市町間の移動状況

	福知山市	舞鶴市	綾部市	京丹後市	伊根町	与謝野町
外出する	84	121	21	136	33	162
目的内訳						
通勤・通学	8	7	2	7	1	15
出張・仕事・商用	9	12	2	9	12	16
買い物	51	66	2	91	1	96
通院	10	27	6	30	1	35
観光・レジャー	4	9	2	9	8	8
その他	11	22	6	19	10	23
不明無回答	1	0	2	3	2	2
頻度						
週5回以上	6	5	1	6	1	23
週3~4回	0	5	0	4	2	18
週1~2回	6	17	0	20	3	40
月に数回程度	43	53	3	66	11	46
それ未満	27	36	16	35	15	28
不明無回答	2	5	1	5	1	7
利用交通手段						
徒歩	2	6	0	0	0	2
自転車	3	0	0	1	0	3
バイク・原付	0	0	0	0	1	1
自動車(自分で運転)	63	93	17	111	27	124
自動車(家族が送迎)	17	27	5	29	6	31
タクシー	0	1	0	0	0	4
バス	1	1	0	0	1	9
鉄道	5	7	1	3	0	1
その他	2	3	1	1	3	3
不明無回答	1	0	0	3	0	5
バス代替						
できる	4	8	3	15	5	15
できない	68	101	13	110	23	124
不明無回答	4	4	4	6	3	7



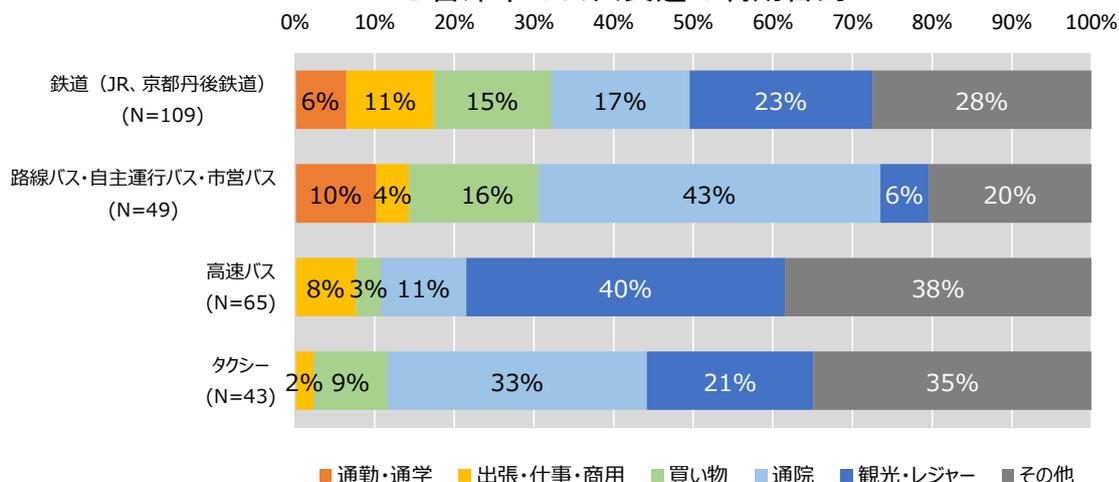
公共交通は鉄道、バス、タクシーともに日常的な利用頻度は低く、鉄道の利用頻度は、「ほとんど利用していない」が64%であり、他の公共交通に比べて利用頻度が高い。路線バス・自主運行バス・市営バスは、「月に1～2回程度」の割合が高い。高速バスについては、「年に1～2回程度」の割合が20%と頻度は高くはないが一定の利用者が存在していることが確認できる。

○宮津市の公共交通の利用頻度



鉄道の利用目的は「観光・レジャー」が23%と最も高いが、その他の目的での利用も一定の割合で存在しており、様々な目的で利用されていることがわかる。ただし、通勤・通学の利用は6%とそれほど高くない。路線バス等では「通院」が43%と非常に高く、福祉目的での利用が目立つ。次いで「買い物」の16%と続く。高速バスの利用目的は「観光・レジャー」の40%と「その他」の38%が突出している。タクシーは「その他」の35%、「通院」の33%が高く、「観光・レジャー」での利用も21%存在している。

○宮津市の公共交通の利用目的

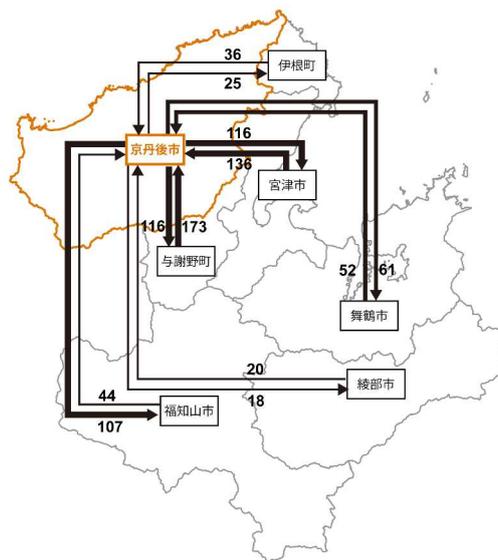


⑤京丹後市の移動の状況

京丹後市は、宮津市、与謝野町、福知山市の3市町への移動量が多く、移動目的は「買い物」が多い。丹後地域内では「出張・仕事・商用」という回答も多い。他市町への利用交通手段は大半が自家用車であり、バスへの代替についてはほとんどの移動で「できない」となっている。

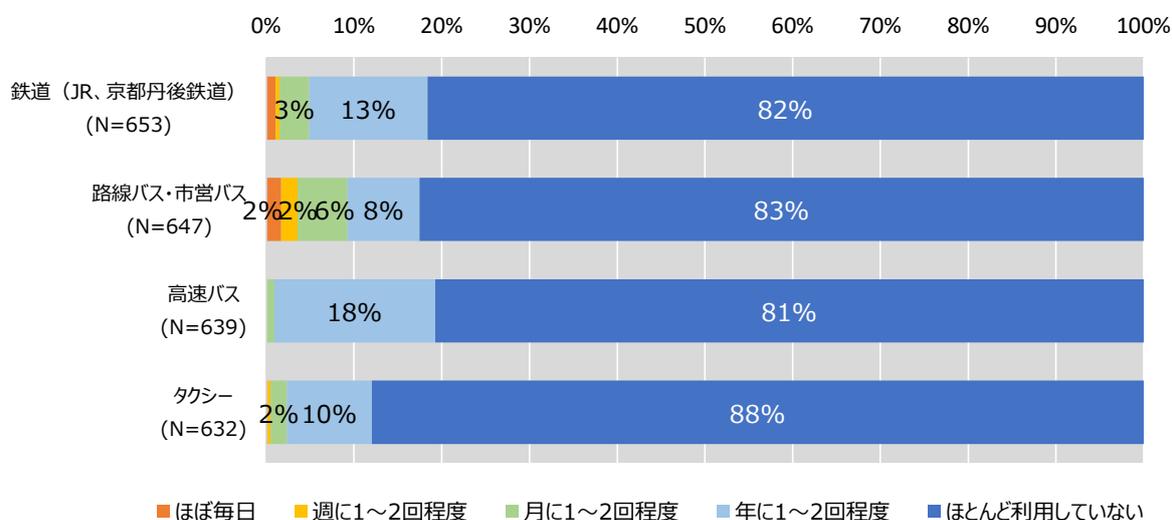
○京都府北部地域市町間の移動状況

	福知山市	舞鶴市	綾部市	宮津市	伊根町	与謝野町
外出する	107	61	18	116	25	116
目的内訳						
通勤・通学	4	2	0	11	0	10
出張・仕事・商用	15	12	5	22	7	25
買い物	61	13	1	48	0	32
通院	9	12	1	11	1	25
観光・レジャー	6	4	3	9	9	3
その他	16	23	7	30	8	25
不明無回答	2	0	1	0	1	4
頻度						
週5回以上	4	1	0	12	0	7
週3~4回	0	2	0	2	3	7
週1~2回	6	9	2	12	0	14
月に数回程度	37	11	6	33	4	40
それ未満	57	35	9	58	17	41
不明無回答	3	3	1	4	1	7
利用交通手段						
徒歩	1	0	0	4	0	1
自転車	3	0	0	5	0	3
バイク・原付	0	1	0	2	0	0
自動車(自分で運転)	86	51	11	91	17	90
自動車(家族が送迎)	25	9	2	18	4	18
タクシー	1	0	0	0	0	1
バス	2	4	3	4	2	5
鉄道	6	6	0	8	0	3
その他	1	1	1	1	2	2
不明無回答	2	0	1	1	2	6
バス代替						
できる	4	1	0	9	1	3
できない	91	53	13	81	18	95
不明無回答	5	2	0	12	1	6



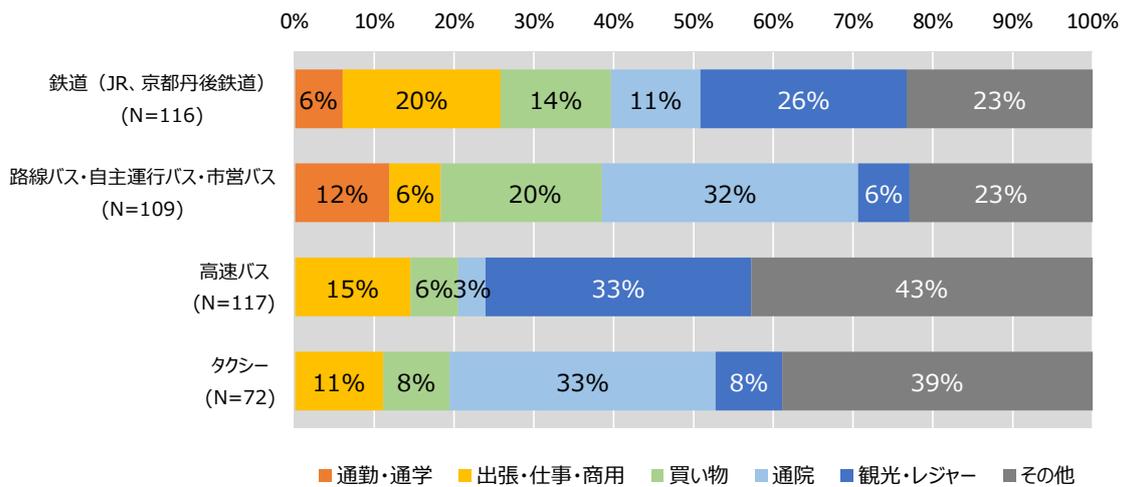
公共交通は鉄道、バス、タクシーともに日常的な利用頻度は低く、路線バス・市営バスは、「月に1~2回程度」の割合が高い。高速バスについては、「年に1~2回程度」の割合が20%と鉄道に次いで高く、頻度は高くないが一定の利用者が存在していることが確認できる。タクシーは公共交通の中で「ほとんど利用していない」の割合が高い。

○京丹後市の公共交通の利用頻度



鉄道の利用目的は「観光・レジャー」が26%と最も高く、次いで「その他」の23%の順となっており、通勤・通学の利用は6.0%と高くない。路線バス・市営バスでは「通院」が32%と最も高く、次いで「その他」、「買い物」と続く。高速バスの利用目的は「その他」が43%と最も高く、次いで「観光・レジャー」の33%と続く。「タクシー」はその他の目的が39%と最も高く、特定の目的にとらわれない多様な利用が多いといえる。

○京丹後市の公共交通の利用目的

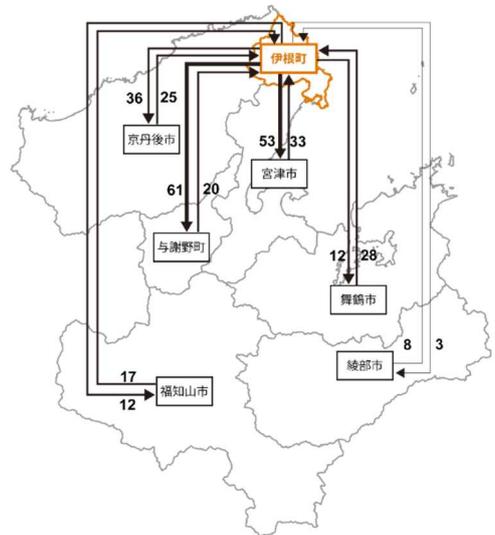


⑥伊根町の移動の状況

伊根町は、与謝野町、宮津市、京丹後市の3市町への移動量が多く、移動目的は「買い物」が多い。他市町への利用交通手段は大半が自家用車（家族送迎を含む）であり、バスへの代替についてはほとんどの移動で「できない」となっている。

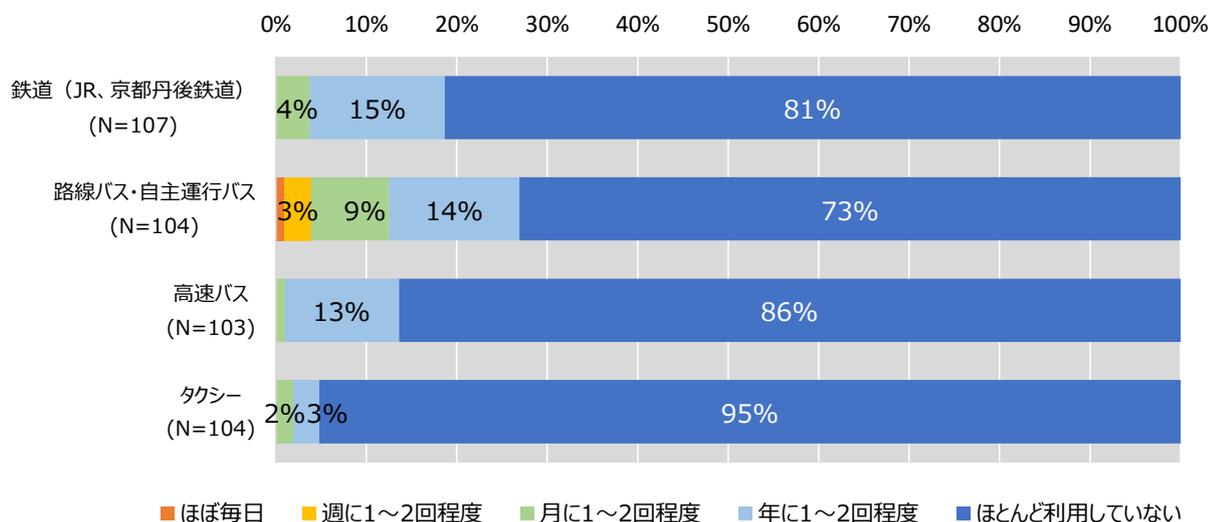
○京都府北部地域市町間の移動状況

		福知山市	舞鶴市	綾部市	宮津市	京丹後市	与謝野町
外出する		12	12	3	3	36	61
目的内訳	通勤・通学	0	1	1	7	1	4
	出張・仕事・商用	0	2	0	7	4	6
	買い物	11	2	2	26	27	42
	通院	1	3	0	13	5	13
	観光・レジャー	1	1	1	3	2	2
	その他	2	1	0	6	4	5
	不明無回答	0	3	0	1	0	1
頻度	週5回以上	0	1	1	10	2	6
	週3~4回	0	0	0	2	1	4
	週1~2回	0	1	0	5	5	15
	月に数回程度	5	4	2	20	19	32
	それ未満	7	6	0	16	8	5
不明無回答	0	0	0	0	1	1	
利用交通手段	徒歩	0	0	0	1	0	0
	自転車	0	0	0	1	0	0
	バイク・原付	0	0	0	0	0	0
	自動車(自分で運転)	11	8	3	41	35	52
	自動車(家族が送迎)	2	2	1	8	6	10
	タクシー	0	0	0	0	0	0
	バス	0	3	0	8	0	3
	鉄道	0	3	0	1	0	0
	その他	0	1	0	0	0	0
	不明無回答	0	0	0	1	0	2
バス代替	できる	1	2	1	6	1	6
	できない	11	6	2	39	35	50
	不明無回答	0	1	0	0	0	1



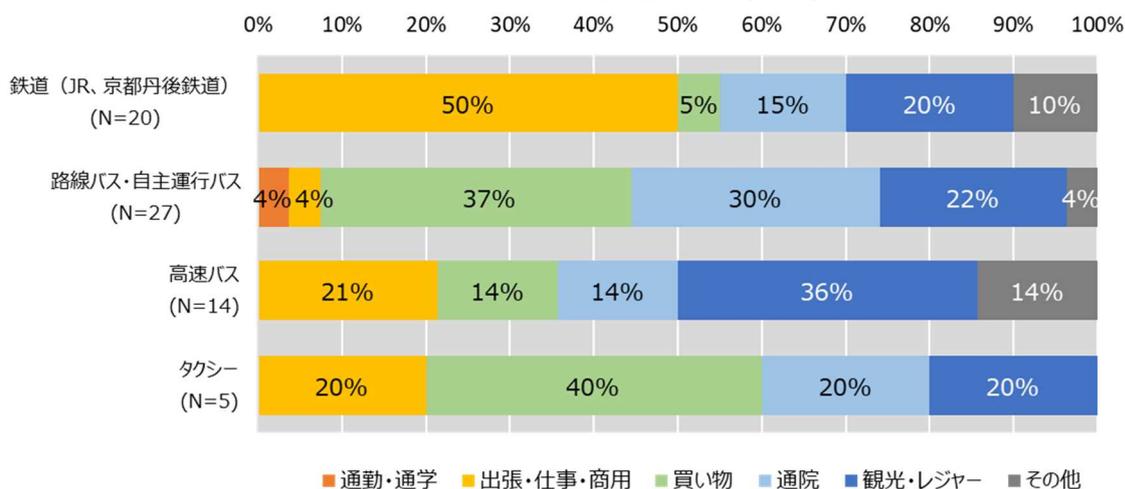
公共交通は鉄道、バス、タクシーともに「ほとんど利用していない」の割合が高く、日常的な利用頻度は低いが、路線バス・自主運行バスは、比較的利用頻度が高い。タクシーは公共交通の中で「ほとんど利用していない」の割合が高い。

○伊根町の公共交通の利用頻度



鉄道や高速バスは「出張・仕事・商用」や「観光・レジャー」などの長距離移動の目的が多い。路線バス・自主運行バスでは「買い物」や「通院」といった日常的な移動による目的が多く、また「観光・レジャー」でも一定の利用がみられる。

○伊根町の公共交通の利用目的

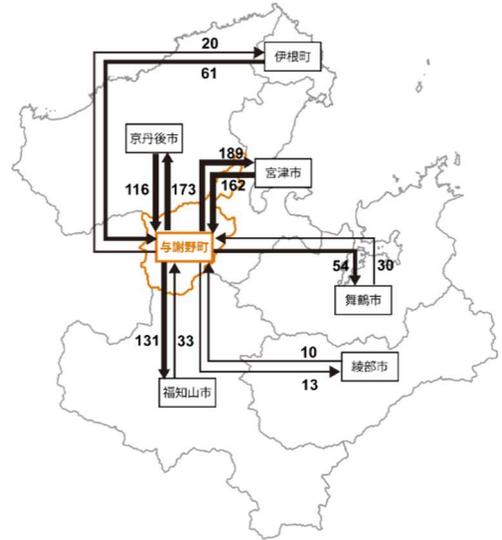


⑦与謝野町と他市町間の移動の状況

与謝野町は宮津市、京丹後市、福知山市の順に移動量が多く、移動目的は「買い物」が最も多い。他市町への利用交通手段は大半が自家用車であり、公共交通の利用は非常に少なく、バスへの代替はほとんどの移動で「できない」となっている。

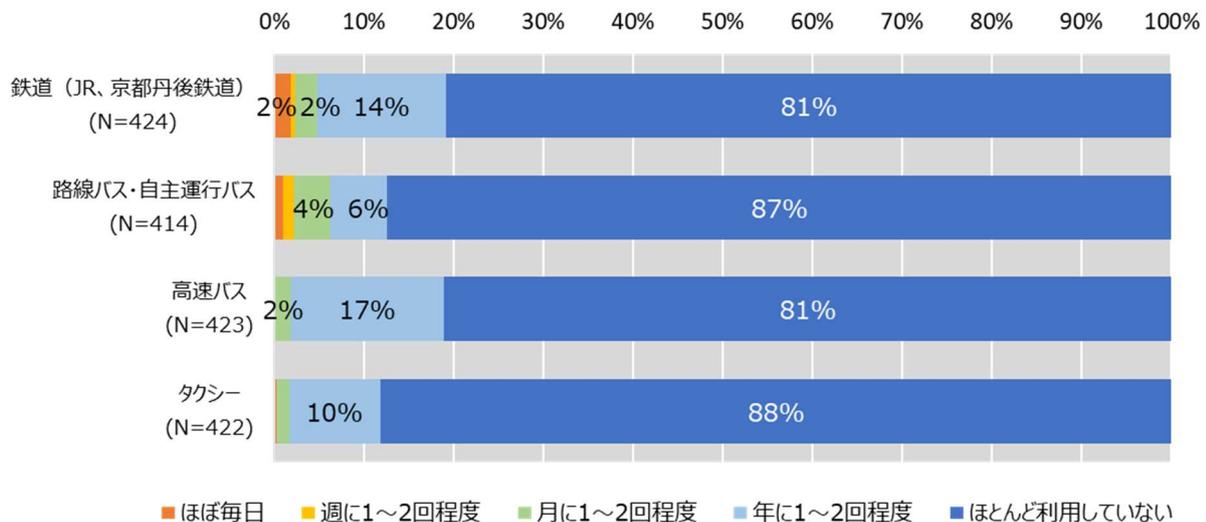
○京都府北部地域市町間の移動状況

	福知山市	舞鶴市	綾部市	宮津市	京丹後市	伊根町
外出する	131	54	13	189	173	20
目的内訳						
通勤・通学	18	4	2	43	24	3
出張・仕事・商用	11	4	5	22	24	4
買い物	79	17	2	78	88	0
通院	17	8	0	28	25	0
観光・レジャー	4	5	0	6	5	6
その他	15	11	5	37	19	5
不明無回答	8	7	0	3	10	2
頻度						
週5回以上	16	1	1	42	27	1
週3～4回	4	2	1	13	8	2
週1～2回	11	4	0	27	21	2
月に数回程度	48	20	3	69	81	9
それ未満	44	23	7	35	24	5
不明無回答	8	4	1	3	12	1
利用交通手段						
徒歩	2	0	1	5	3	0
自転車	2	1	1	6	4	2
バイク・原付	0	0	1	1	1	0
自動車（自分で運転）	98	36	9	153	138	17
自動車（家族が送迎）	30	17	2	30	33	0
タクシー	0	0	1	0	2	0
バス	6	1	0	5	5	0
鉄道	4	5	1	9	3	0
その他	0	0	0	3	0	0
不明無回答	3	1	1	3	4	1
バス代替						
できる	13	6	1	23	12	2
できない	103	42	7	140	132	15
不明無回答	6	3	3	12	18	0



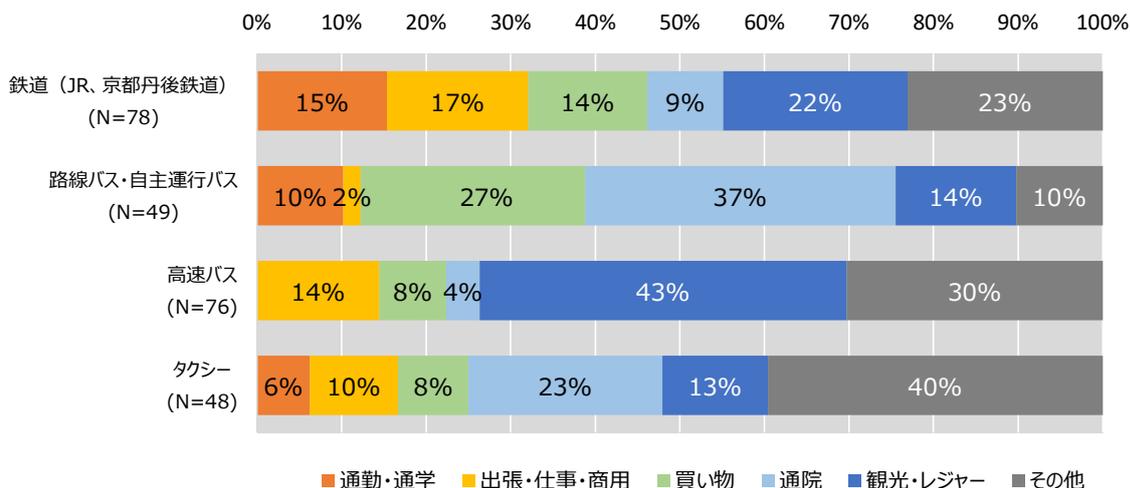
公共交通は鉄道、バス、タクシーともに日常的な利用頻度は低く、路線バス・自主運行バスは、「月に1～2回程度」の割合が他の公共交通に比べてやや高い。高速バスについては、「年に1～2回程度」の割合が17%と頻度は高くないが一定の利用者が存在している。タクシーは公共交通の中で「ほとんど利用していない」の割合が高い。

○与謝野町の公共交通の利用頻度



鉄道の利用目的は「その他」の23%、「観光・レジャー」が22%、「出張・仕事・商用」が17%と続く。様々な目的での利用がみられる。路線バス・自主運行バスでは「通院」が37%と最も高く、次いで「買い物」の27%と続く。高速バスの利用目的は「観光・レジャー」が43%と最も高く、次いで「その他」の30%と続く。「タクシー」はその他の目的が40%と最も高く、特定の目的にとらわれない多様な利用が多いといえる。

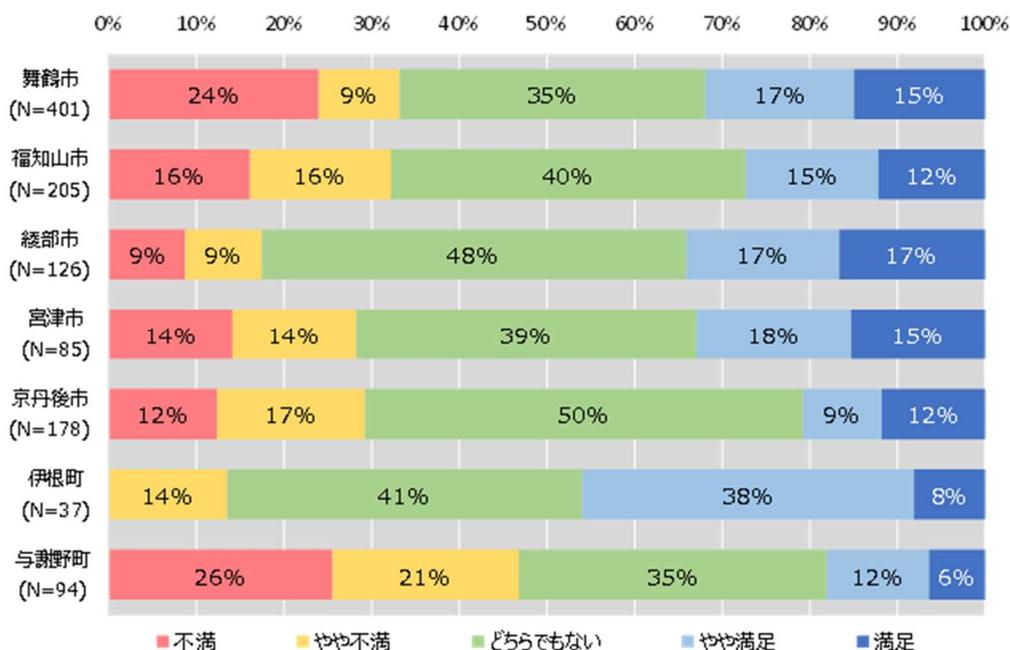
○与謝野町の公共交通の利用目的



(3) 路線バスに対する満足度

不満と満足の評価が拮抗しているが、満足寄りの評価が優勢な自治体が多い。満足な点としてあげられる項目が、自宅最寄りのバス停の位置、目的地のバス停の位置、時刻表通りの運行となっており、不満点で共通してあげられる項目が、一日の運行本数、始発・終発、乗り継ぎの利便性（鉄道や他路線バス）バス停留所の快適性となっている。

○市町別の路線バスへの満足度



(4) バスの利用が増えるための改善点について

「利用したい時間帯に運行するダイヤとする」がどの自治体も40%以上回答があり、次いで「鉄道とバスの乗換を便利に」、「バスとバスの乗換を便利に」、「バス停留所に屋根や椅子を設ける」という回答が20%前後で続いている。

○福知山市におけるバス利用が増えるための改善点についての意見

バス利用が増えるための改善点について	回答者数 (人)	回答割合 (%)
1 よく利用する商業施設や病院の玄関付近にバス停を設置する	41	8.2
2 よく利用する商業施設や病院付近を新たに経由する	27	5.4
3 利用したい時間帯に運行するダイヤとする	212	42.1
4 バス停留所に屋根や椅子を設ける	69	13.7
5 鉄道とバスの乗換を便利にする	91	18.1
6 バスとバスの乗り継ぎを便利にする	52	10.3
7 バリアフリーの充実	44	8.7
8 鉄道・バスの運賃割引制度の充実	117	23.3
9 駅やバス停留所での路線案内や時刻案内を分かりやすくする	67	13.3
10 公共交通の時刻表や路線図等を掲載した冊子等を各戸に配布する	54	10.7
11 主要商業施設・病院等へのバスでの行き方や時刻表の周知・広報	56	11.1
12 その他	123	24.5
合計	503	100.0

○舞鶴市におけるバス利用が増えるための改善点についての意見

バス利用が増えるための改善点について	回答者数 (人)	回答割合 (%)
1 よく利用する商業施設や病院の玄関付近にバス停を設置する	118	16.3
2 よく利用する商業施設や病院付近を新たに経由する	83	11.5
3 利用したい時間帯に運行するダイヤとする	311	43.0
4 バス停留所に屋根や椅子を設ける	152	21.0
5 鉄道とバスの乗換を便利にする	135	18.7
6 バスとバスの乗り継ぎを便利にする	95	13.1
7 バリアフリーの充実	69	9.5
8 鉄道・バスの運賃割引制度の充実	162	22.4
9 駅やバス停留所での路線案内や時刻案内を分かりやすくする	87	12.0
10 公共交通の時刻表や路線図等を掲載した冊子等を各戸に配布する	69	9.5
11 主要商業施設・病院等へのバスでの行き方や時刻表の周知・広報	101	14.0
12 その他	161	22.3
合計	723	100.0

○綾部市におけるバス利用が増えるための改善点についての意見

バス利用が増えるための改善点について	回答者数 (人)	回答割合 (%)
1 よく利用する商業施設や病院の玄関付近にバス停を設置する	23	8.0
2 よく利用する商業施設や病院付近を新たに経由する	12	4.2
3 利用したい時間帯に運行するダイヤとする	120	42.0
4 バス停留所に屋根や椅子を設ける	61	21.3
5 鉄道とバスの乗換を便利にする	73	25.5
6 バスとバスの乗り継ぎを便利にする	47	16.4
7 バリアフリーの充実	29	10.1
8 鉄道・バスの運賃割引制度の充実	47	16.4
9 駅やバス停留所での路線案内や時刻案内を分かりやすくする	28	9.8
10 公共交通の時刻表や路線図等を掲載した冊子等を各戸に配布する	21	7.3
11 主要商業施設・病院等へのバスでの行き方や時刻表の周知・広報	34	11.9
12 その他	71	24.8
合計	286	100.0

○宮津市におけるバス利用が増えるための改善点についての意見

バス利用が増えるための改善点について	回答者数 (人)	回答割合 (%)
1 よく利用する商業施設や病院の玄関付近にバス停を設置する	23	11.3
2 よく利用する商業施設や病院付近を新たに経由する	17	8.4
3 利用したい時間帯に運行するダイヤとする	85	41.9
4 バス停留所に屋根や椅子を設ける	36	17.7
5 鉄道とバスの乗換を便利にする	52	25.6
6 バスとバスの乗り継ぎを便利にする	29	14.3
7 バリアフリーの充実	24	11.8
8 鉄道・バスの運賃割引制度の充実	27	13.3
9 駅やバス停留所での路線案内や時刻案内を分かりやすくする	22	10.8
10 公共交通の時刻表や路線図等を掲載した冊子等を各戸に配布する	15	7.4
11 主要商業施設・病院等へのバスでの行き方や時刻表の周知・広報	37	18.2
12 その他	47	23.2
合計	203	100.0

○京丹後市におけるバス利用が増えるための改善点についての意見

バス利用が増えるための改善点について	回答者数 (人)	回答割合 (%)
1 よく利用する商業施設や病院の玄関付近にバス停を設置する	62	14.8
2 よく利用する商業施設や病院付近を新たに経由する	46	11.0
3 利用したい時間帯に運行するダイヤとする	168	40.0
4 バス停留所に屋根や椅子を設ける	85	20.2
5 鉄道とバスの乗換を便利にする	104	24.8
6 バスとバスの乗り継ぎを便利にする	102	24.3
7 バリアフリーの充実	34	8.1
8 鉄道・バスの運賃割引制度の充実	54	12.9
9 駅やバス停留所での路線案内や時刻案内を分かりやすくする	37	8.8
10 公共交通の時刻表や路線図等を掲載した冊子等を各戸に配布する	19	4.5
11 主要商業施設・病院等へのバスでの行き方や時刻表の周知・広報	69	16.4
12 その他	102	24.3
合計	420	100.0

○伊根町におけるバス利用が増えるための改善点についての意見

バス利用が増えるための改善点について	回答者数 (人)	回答割合 (%)
1 利用したい時間帯に運行するダイヤとする	37	52.1
2 バス停留所に屋根や椅子を設ける	20	28.2
3 鉄道とバスの乗換を便利にする	20	28.2
4 バスとバスの乗り継ぎを便利にする	23	32.4
5 バリアフリーの充実	4	5.6
6 鉄道・バスの運賃割引制度の充実	12	16.9
7 駅やバス停留所での路線案内や時刻案内を分かりやすくする	8	11.3
8 主要商業施設・病院等へのバスでの行き方や時刻表の周知・広報	15	21.1
9 その他	9	12.7
合計	71	100.0

○与謝野町におけるバス利用が増えるための改善点についての意見

バス利用が増えるための改善点について	回答者数 (人)	回答割合 (%)
1 よく利用する商業施設や病院の玄関付近にバス停を設置する	39	14.0
2 よく利用する商業施設や病院付近を新たに経由する	24	8.6
3 利用したい時間帯に運行するダイヤとする	146	52.5
4 バス停留所に屋根や椅子を設ける	43	15.5
5 鉄道とバスの乗換を便利にする	92	33.1
6 バスとバスの乗り継ぎを便利にする	78	28.1
7 バリアフリーの充実	9	3.2
8 鉄道・バスの運賃割引制度の充実	57	20.5
9 駅やバス停留所での路線案内や時刻案内を分かりやすくする	31	11.2
10 公共交通の時刻表や路線図等を掲載した冊子等を各戸に配布する	16	5.8
11 主要商業施設・病院等へのバスでの行き方や時刻表の周知・広報	31	11.2
12 その他	40	14.4
合計	278	100.0

(5) 住民の考える公共交通のあり方について

住民への意識調査として、持続可能な交通体系を構築するための基本方針として、考えに近いものを回答していただいたところ、「企業や病院等の送迎バスに、一般客も運賃を払って乗車できるようにする」が最も多い。次いで「マッチングアプリや地域ポイントの導入により住民同士の送迎を支援する」、「市民・町民に対して環境にやさしい行動の一つとしてバス利用を呼び掛ける」の回答が多い。

○持続可能な交通体系を構築するための取組の基本方針

	1	2	3	4	5	6	7
京都府北部地域計(N=2656)	25%	33%	34%	11%	3%	31%	13%
舞鶴市(N=757)	24%	32%	35%	11%	1%	32%	15%
福知山市(N=558)	18%	29%	37%	10%	4%	31%	16%
綾部市(N=306)	25%	32%	32%	10%	4%	37%	10%
宮津市(N=223)	29%	29%	35%	13%	2%	31%	12%
京丹後市(N=432)	27%	39%	34%	10%	4%	29%	10%
伊根町(N=72)	29%	56%	0%	10%	4%	35%	11%
与謝野町(N=308)	36%	31%	37%	9%	2%	24%	10%

1.バス路線は利用の多い路線のみに限定して増便する
 2.マッチングアプリや地域ポイントの導入により住民同士の送迎を支援する
 3.企業や病院等の送迎バスに、一般客も運賃を払って乗車できるようにする
 4.他の生活関連予算をバス路線の赤字補填に充てる
 5.バスの運賃を上げ、増収を図る
 6.市民・町民に対して環境にやさしい行動の一つとしてバス利用を呼び掛ける
 7.その他

また、公共交通にはどのような役割を求められているかについて、考えに近いものを回答していただいたところ、移送手段として公共交通に求める役割として、8割近くが「子ども、学生、高齢者、免許を持たない人が出かけるための移動手段」と回答し、次いで「将来、運転免許証を返納した時の移動手段」が7割、「市民・町民の通勤・通学のための移動手段」や「市民・町民の買い物や通院のための移動手段」という回答がほぼ同数となっている。

○移送手段として公共交通に求める役割

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
京都府北部地域計(N=3267)	60%	67%	21%	37%	34%	78%	44%	71%	2%
舞鶴市(N=881)	62%	68%	23%	38%	36%	81%	45%	69%	2%
福知山市(N=687)	55%	65%	20%	32%	30%	74%	47%	71%	2%
綾部市(N=397)	61%	68%	27%	39%	37%	78%	47%	72%	2%
宮津市(N=279)	62%	68%	23%	42%	40%	79%	45%	72%	1%
京丹後市(N=564)	67%	69%	18%	36%	34%	79%	42%	71%	1%
伊根町(N=86)	59%	81%	27%	48%	41%	77%	44%	79%	0%
与謝野町(N=373)	55%	62%	14%	38%	31%	77%	38%	73%	1%

移送手段としての役割

- | | |
|---------------------------|------------------------------------|
| 1. 市民・町民の通勤や通学のための移動手段 | 6. 子ども、学生、高齢者、免許を持たない人が出かけるための移動手段 |
| 2. 市民・町民の買物や通院のための移動手段 | 7. ケガ、飲酒、故障などで自動車を利用できないときの移動手段 |
| 3. 市民・町民の趣味やサークル活動などの移動手段 | 8. 将来、運転免許証を返納したときの移動手段 |
| 4. 市民・町民が周辺地域へ出かける場合の移動手段 | 9. その他（移動手段としての役割） |
| 5. 市民・町民が遠方へ出かける場合の移動手段 | |

地域として求める公共交通の役割として、「いつでも利用できる安心感を持つ」という回答が7割弱と最も多く、次いで、「市民・町民が自由に外出できることで、にぎわいを作り出す」、「市外・町外からの訪問者を受け入れ、観光地や商業施設のにぎわいを作り出す」という回答が続く。

○地域として求める公共交通の役割

	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
京都府北部地域計(N=3267)	65%	15%	21%	34%	31%	16%	17%	20%	23%	2%
舞鶴市(N=881)	65%	16%	21%	37%	33%	20%	22%	23%	26%	2%
福知山市(N=687)	65%	14%	20%	34%	28%	13%	18%	22%	27%	4%
綾部市(N=397)	66%	16%	19%	37%	32%	18%	17%	25%	25%	3%
宮津市(N=279)	67%	13%	19%	41%	42%	19%	13%	14%	18%	2%
京丹後市(N=564)	67%	16%	22%	27%	31%	15%	13%	17%	21%	2%
伊根町(N=86)	70%	26%	17%	23%	36%	14%	21%	23%	21%	1%
与謝野町(N=373)	62%	15%	25%	29%	24%	11%	7%	13%	14%	2%

地域としての役割

- | | |
|---|----------------------------|
| 10. いつでも利用できる安心感をもつ | 15. 市町の魅力・ステータスを高める |
| 11. 自宅から通うことができるため、家賃や下宿代などの費用がかからない | 16. 自動車利用を減らすことで、道路の混雑を減らす |
| 12. 高校や大学などの進学先の選択肢を増やす | 17. 自動車利用を減らすことで、自然環境を守る |
| 13. 市民・町民が自由に外出できることで、にぎわいを作り出す | 18. 自動車利用を減らすことで、交通事故を減らす |
| 14. 市外・町外からの訪問者を受け入れ、観光地や商業施設のにぎわいを作り出す | 19. その他（地域における役割） |

2 圏域の高校生へのアンケート調査結果

計画を作成するにあたり、本圏域の高校2年生を対象としたアンケート調査を実施しました。アンケート調査の結果、公共交通に対する便利で使いやすいという好意的なイメージがある一方で、公共交通に対する不満点が見えてきました。

(参考) 調査対象校

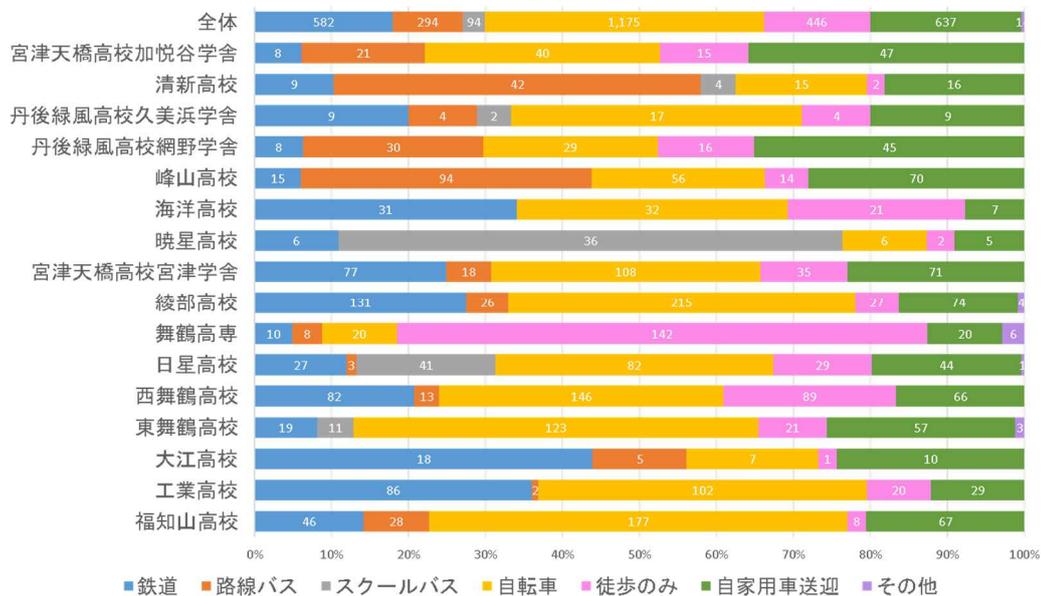
自治体名	配布先			
福知山市	福知山高校	府立工業高校	大江高校	
舞鶴市	東舞鶴高校	西舞鶴高校	日星高校	舞鶴高専
綾部市	綾部高校 (東分校含む)			
宮津市	宮津天橋高校 (宮津学舎)	海洋高校	京都暁星高校	
京丹後市	丹後緑風高校 (網野学舎)	丹後緑風高校 (久美浜学舎)	峰山高校	清新高校
伊根町	なし			
与謝野町	宮津天橋高校 (加悦谷学舎)			

回答数 1,953 件

(1) 高校生の移動状況

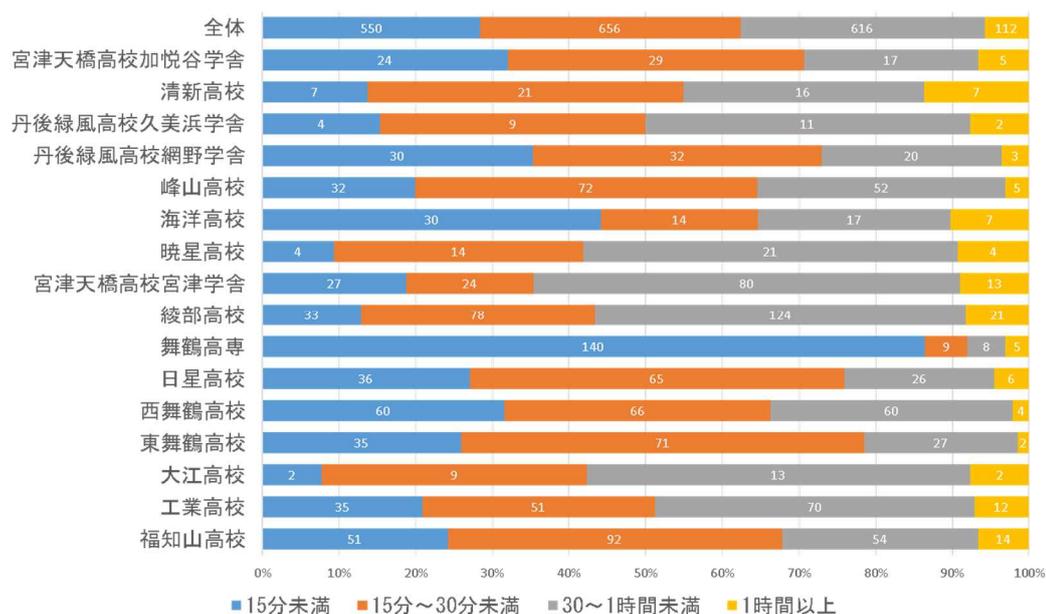
自転車通学者の割合が多く、中丹地域は比較的鉄道利用が多いのに対して、丹後地域は路線バス利用が多い。どの高校においても自家用車送迎が一定の割合を占めている。

○高校別の通学手段



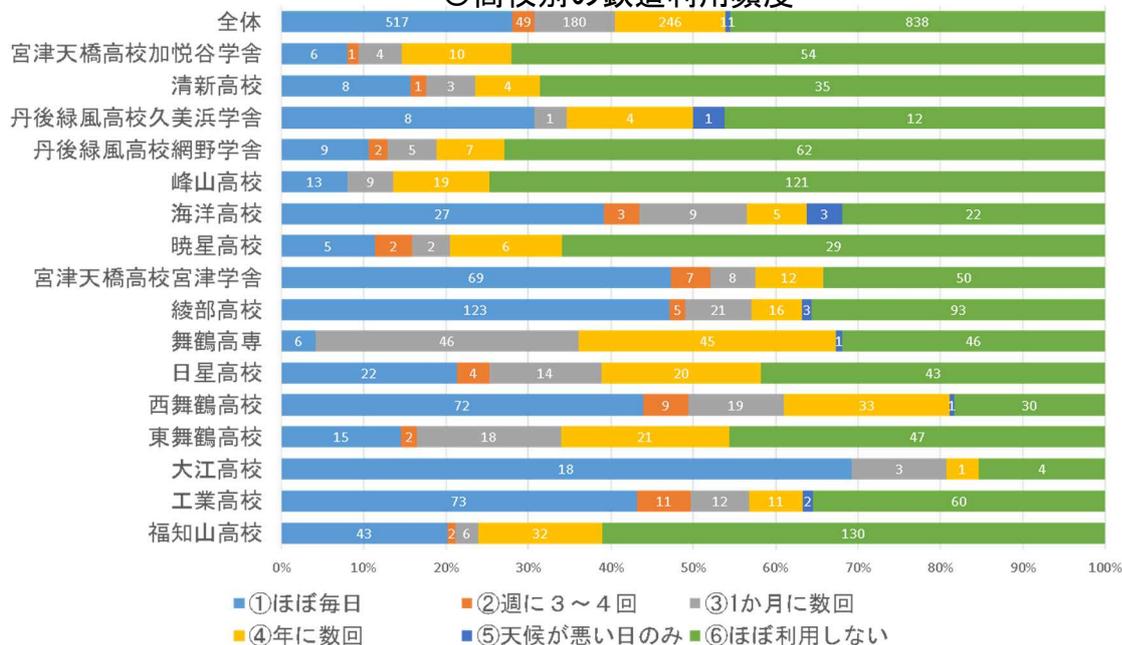
通学時間は30分未満という回答が2/3を占めている。1時間以上の通学時間という回答は少ない。

○高校別の通学時間

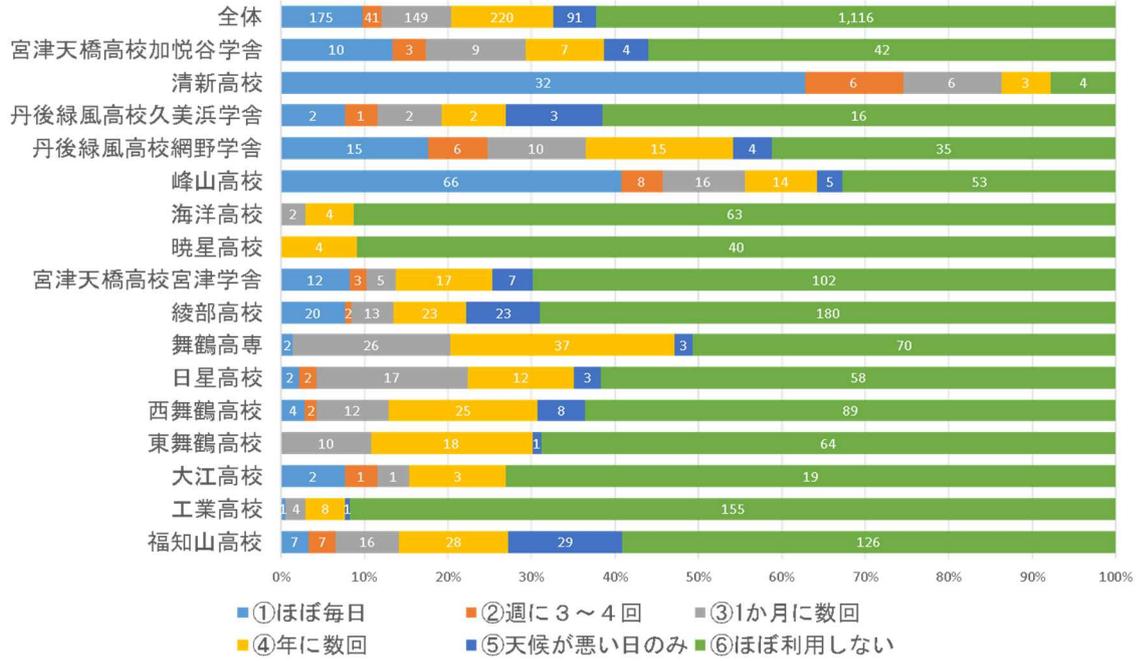


各交通機関の利用頻度を見ると、ほぼ利用しないという回答も多いものの鉄道利用者は一定数ある。バスについてはほぼ利用しないという回答が鉄道よりも多い。自家用車利用は、1か月のうちほぼ毎日から少なくとも数回は自家用車送迎を利用するという回答が半分を占めている。タクシーはほぼ利用しないという回答だった。また、半数以上が自転車を利用しているという回答だった。

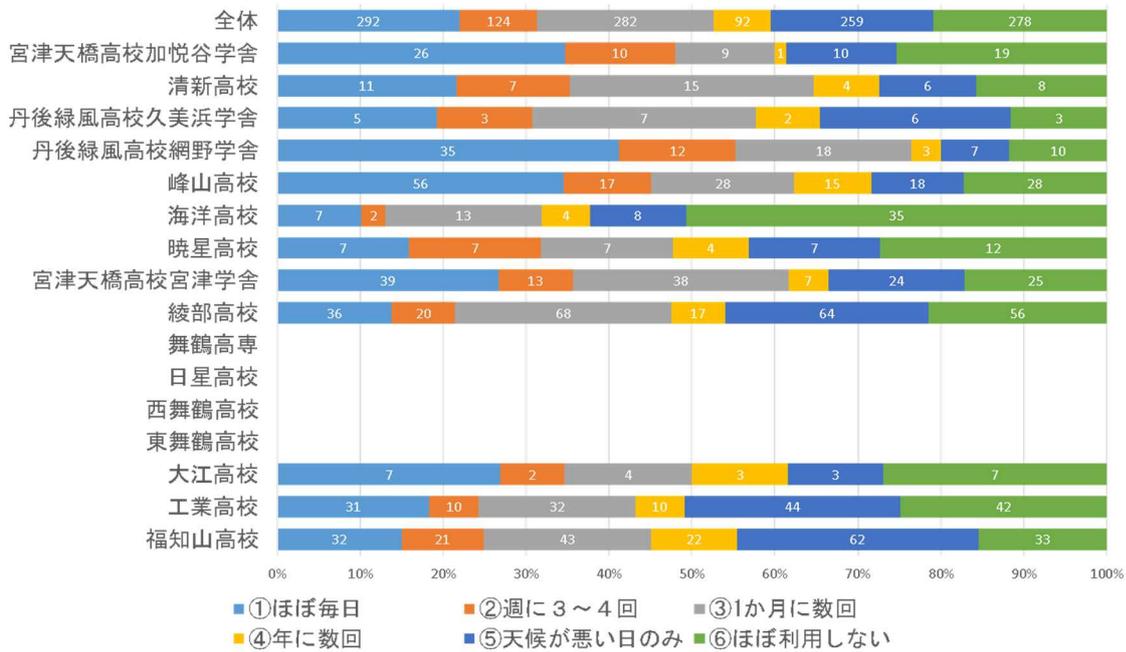
○高校別の鉄道利用頻度



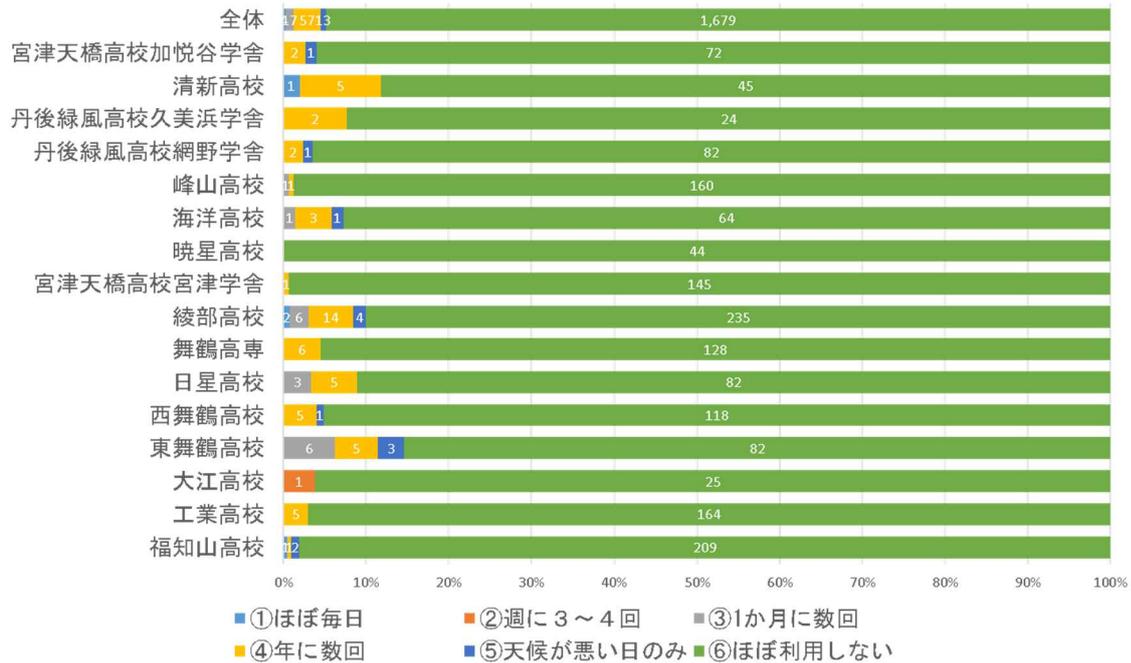
○高校別のバス利用頻度



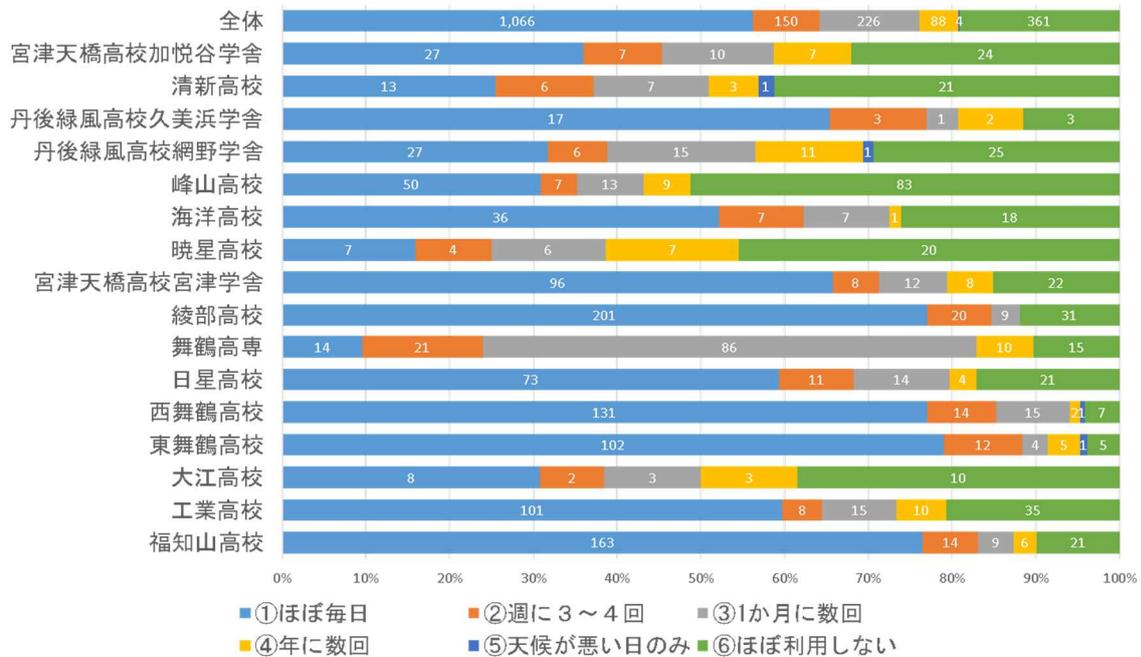
○高校別の自家用車利用頻度



○高校別のタクシー利用頻度



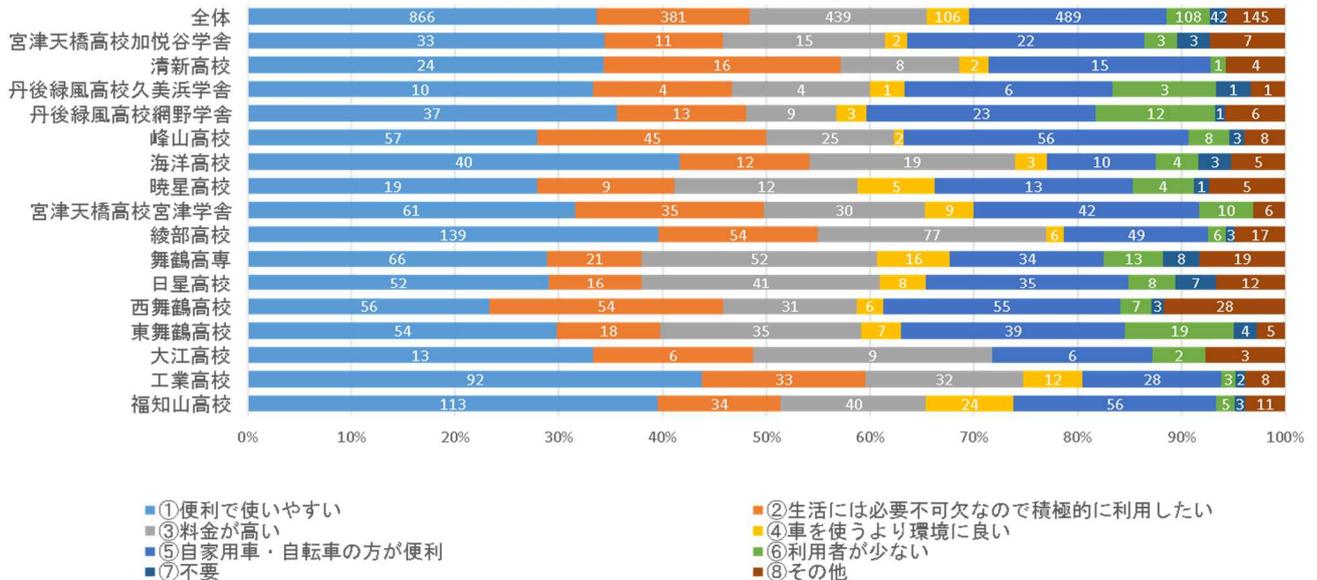
○高校別の自転車利用頻度



(2) 高校生の公共交通へのイメージ

公共交通に対するイメージでは、便利で使いやすい、生活に不可欠なので積極的に利用したいという好意的な回答が全体の半数近くある。次いで多いのが、料金が低い、自家用車・自転車の方が便利という回答となっている。その他意見では、人が多いという回答が多く、従来からの状況に加えて、コロナ禍のため、密になることが怖いという趣旨の回答が多かった。

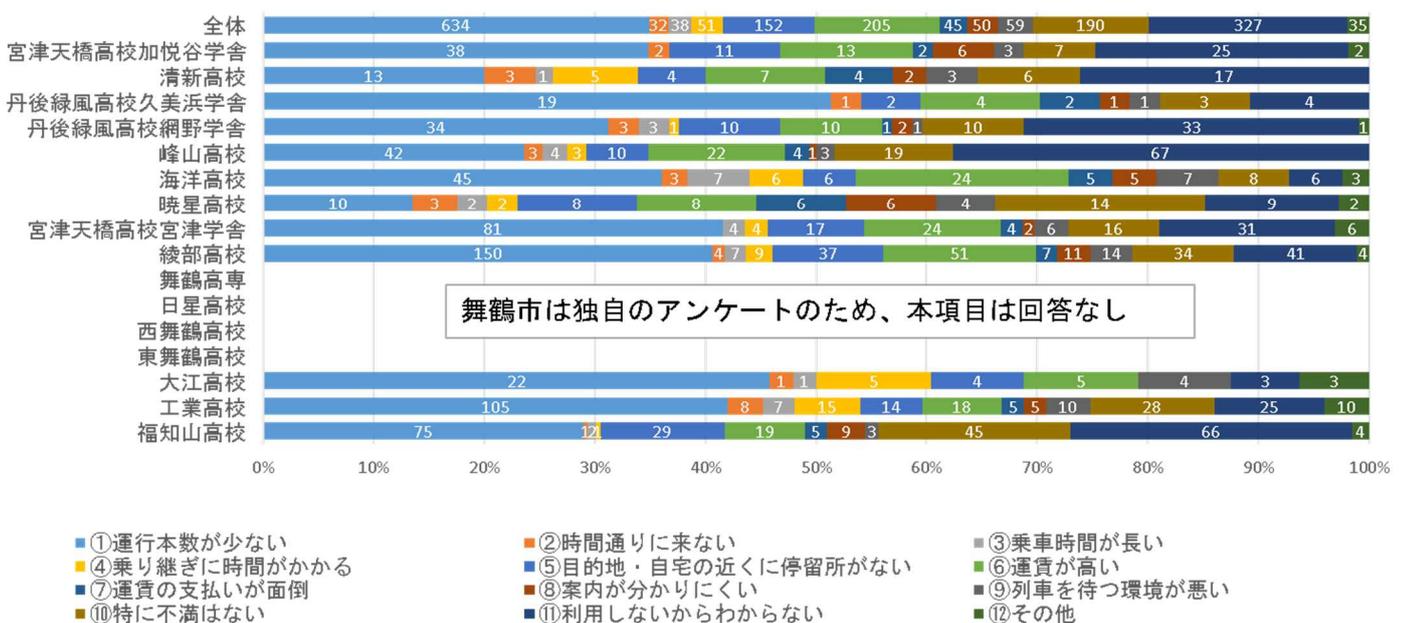
○高校別の公共交通に対するイメージ



(3) 高校生のニーズ

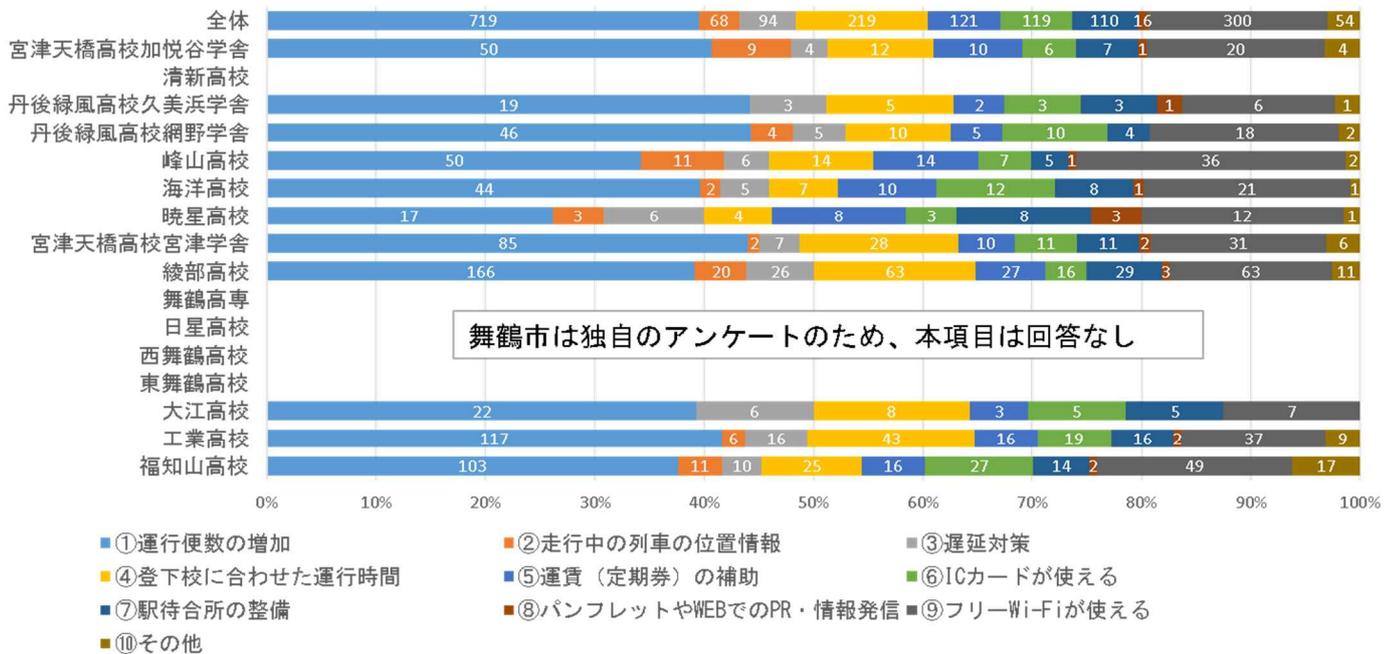
鉄道に対する不満や不便に感じることの項目では、運行本数が少ないという回答が最も多い。利用しないからわからないという回答も一定の割合を占めている。その他意見でもバスと同様に人が多いことに対して不満を感じる回答が多かった。また、定時性が高い交通手段であることから、遅延の際、その情報が入らないことに対して不満を感じる回答があった。

○高校別の鉄道に対する不満や不便に感じること



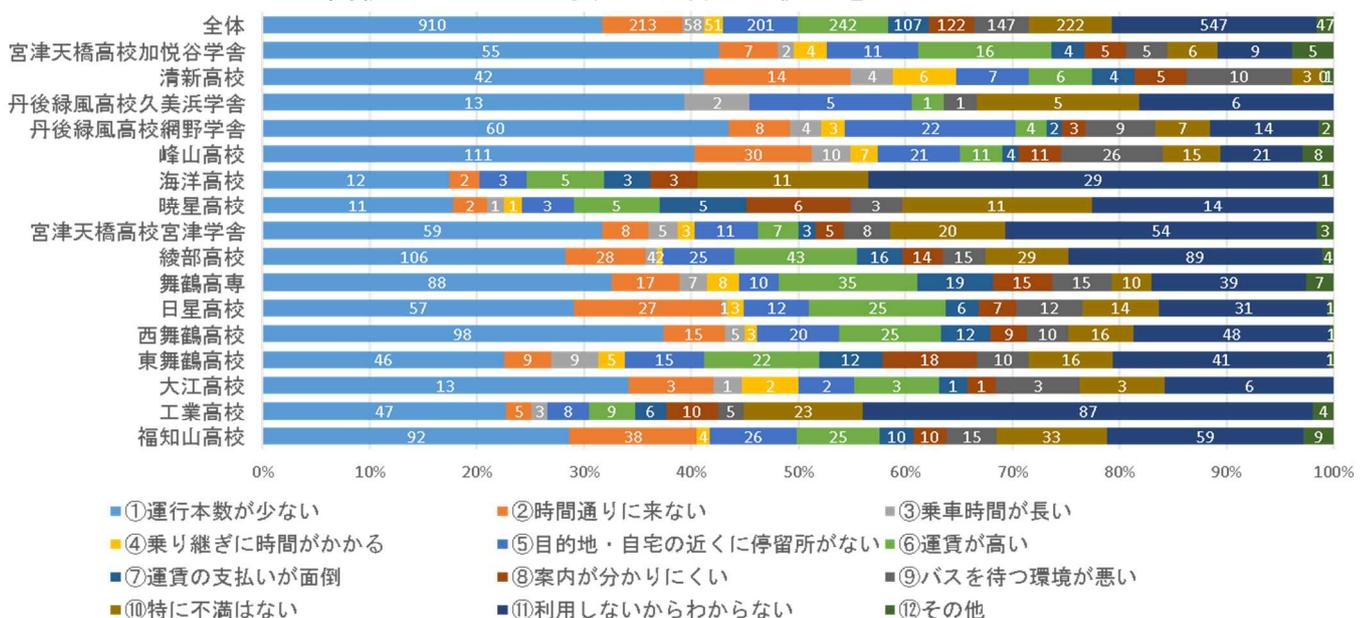
鉄道に強く望むことの項目では、運行本数の増加を望む回答が一番多く、次いでフリーWi-Fiが使える、登下校に合わせた運行時間という回答が多くなっている。その他意見では、利用時間帯に人が多いことから、車両の増結や座席の増設が望まれており、その他運賃が高いという回答があった。

○高校別の鉄道に強く望むこと



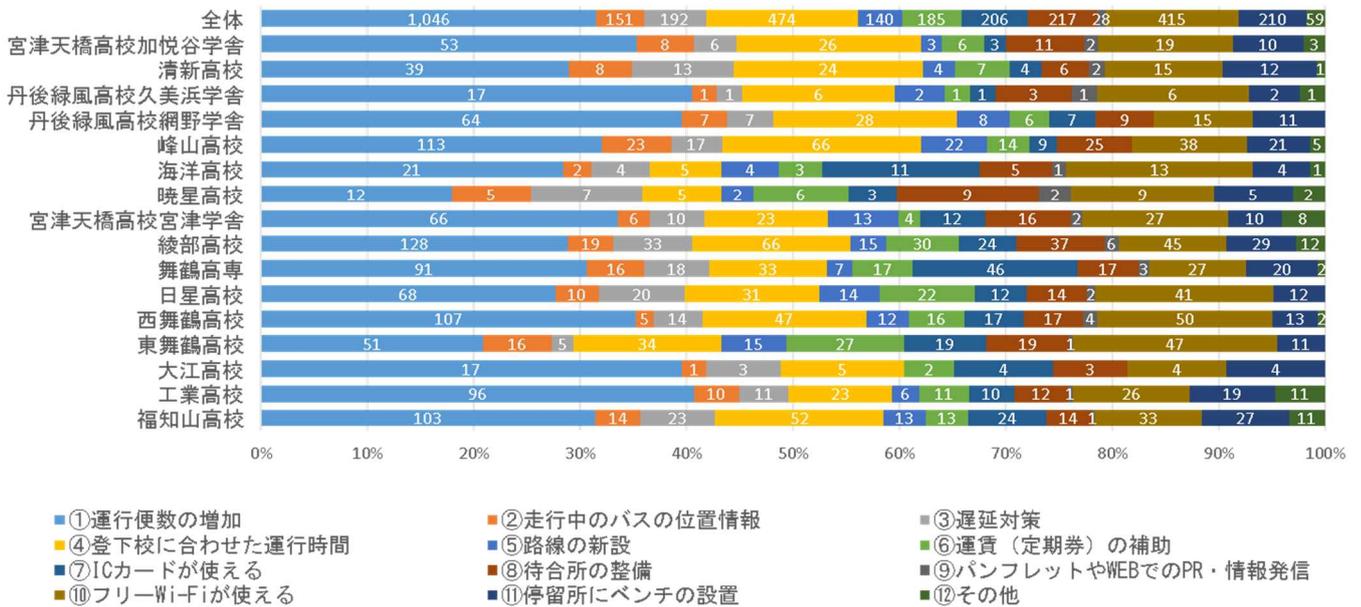
バスに対する不満や不便に感じることの項目では、大きなウエイトを占めるのが運行本数が少ないという回答になっている。利用しないからわからないという回答も一定の割合を占めている。その他意見では、人が多い、密になるという回答が多かった。

○高校別のバスに対する不満や不便に感じること



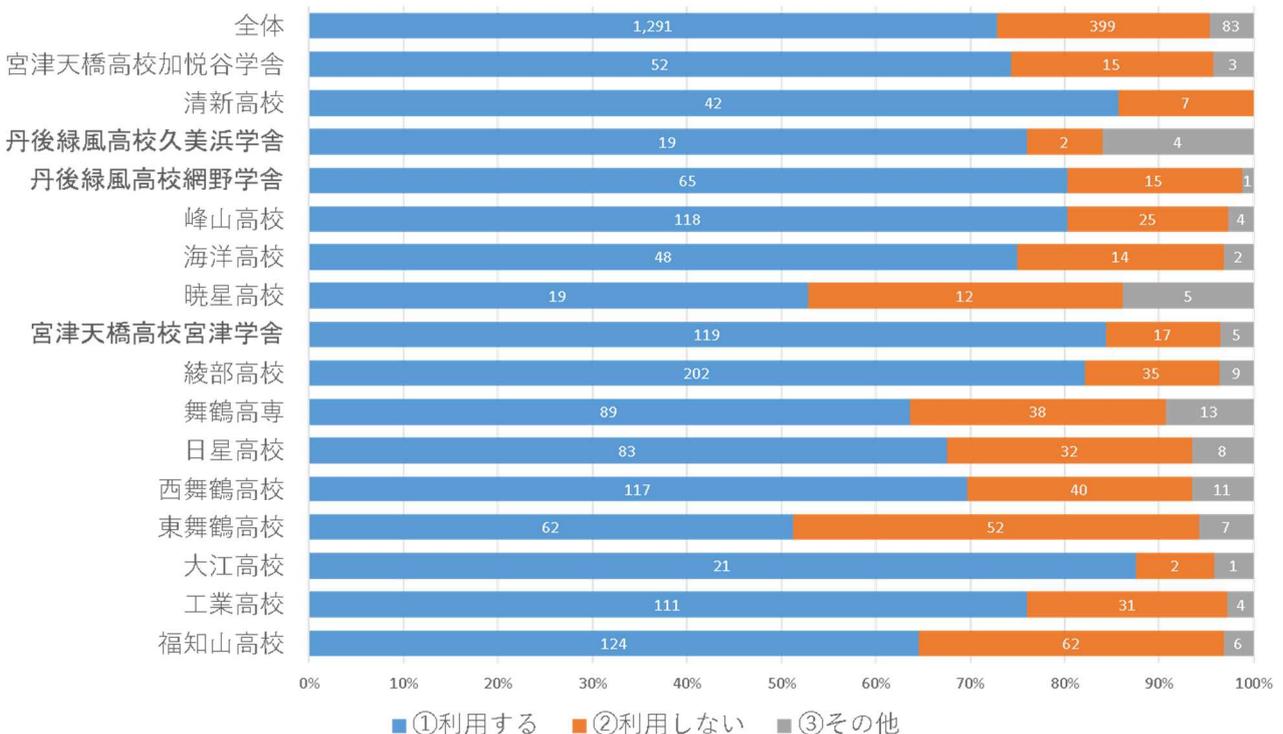
バスに強く望むことの項目では、運行便数の増加という回答が一番多く、次いで登下校に合わせた運行時間、フリーWi-Fiが使えるという意見となっている。その他意見では利用時間帯に人が多いことから、バスを2台にするなどの対策が望まれている。

○高校別のバスに強く望むこと



バス・鉄道に望むことが実現した場合に公共交通を利用するとした回答が全体で7割を超えている。

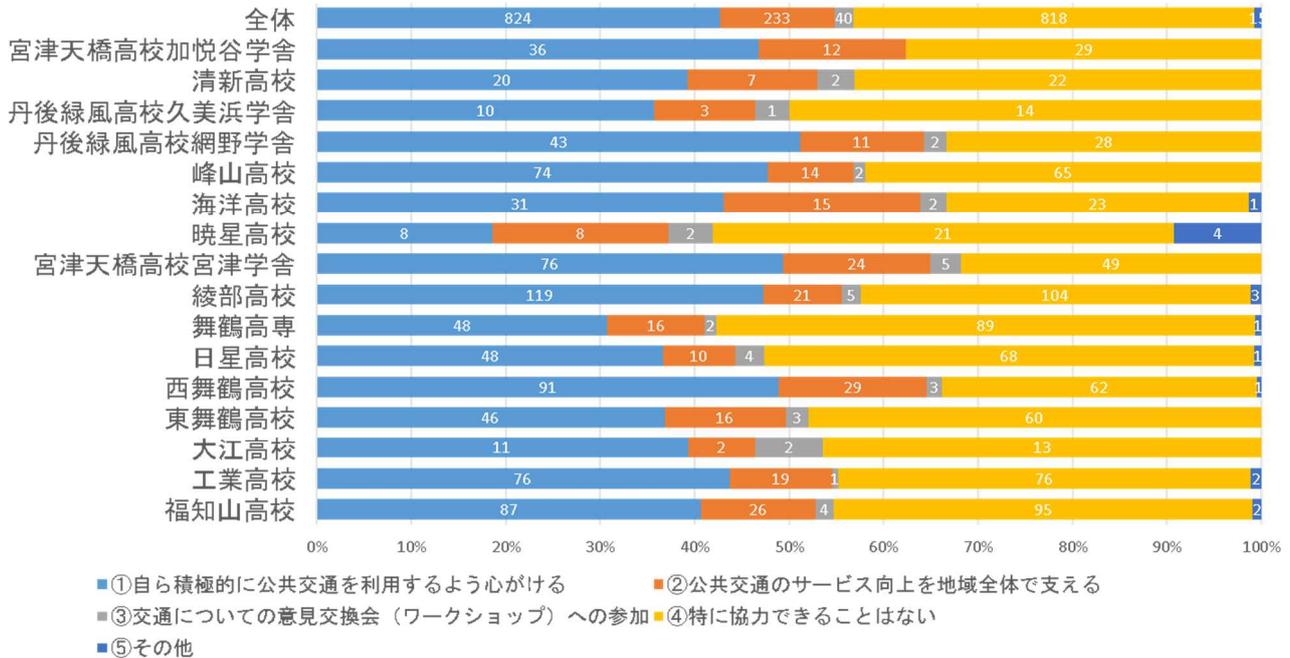
○高校別の鉄道・バスに強く望むことが実現した場合の利用可否



(4) 高校生の公共交通に対する意識

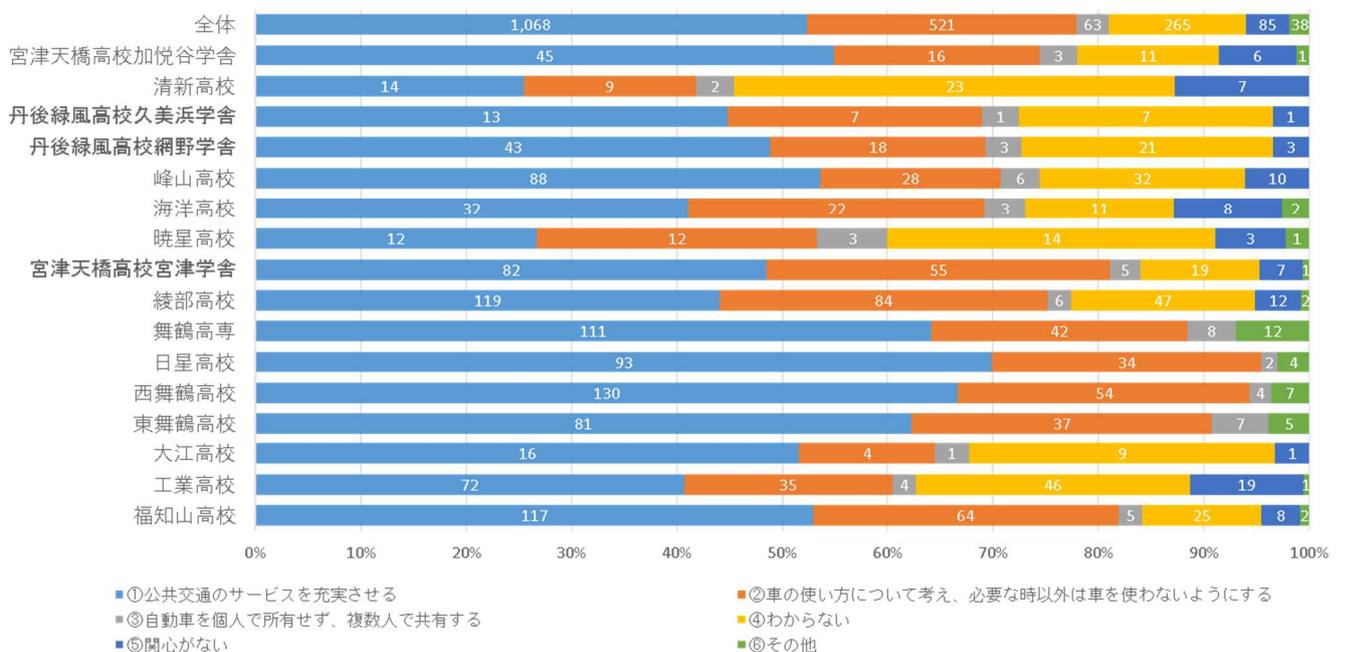
高校生への意識調査として、公共交通に関して協力できると思われる取組については、特に協力できることはないという回答が全体の約半数となっているが、自ら積極的に公共交通を利用するよう心がけるとい回答もほぼ同数となっている。ワークショップへの参加という回答は著しく低い。その他意見では、利用マナーに関する回答が多かった。

○高校別の公共交通に関して協力できると思われる取組



また、過度の自家用車利用を見直し、環境にやさしいまちにするために有効だと思う取組については、公共交通のサービスを充実させるという回答が半数あり、車の使い方について考え、必要な時以外は車を使わないようにするが次いで多い。その他意見では、水素自動車や電気自動車を利用するという意見が多かった。

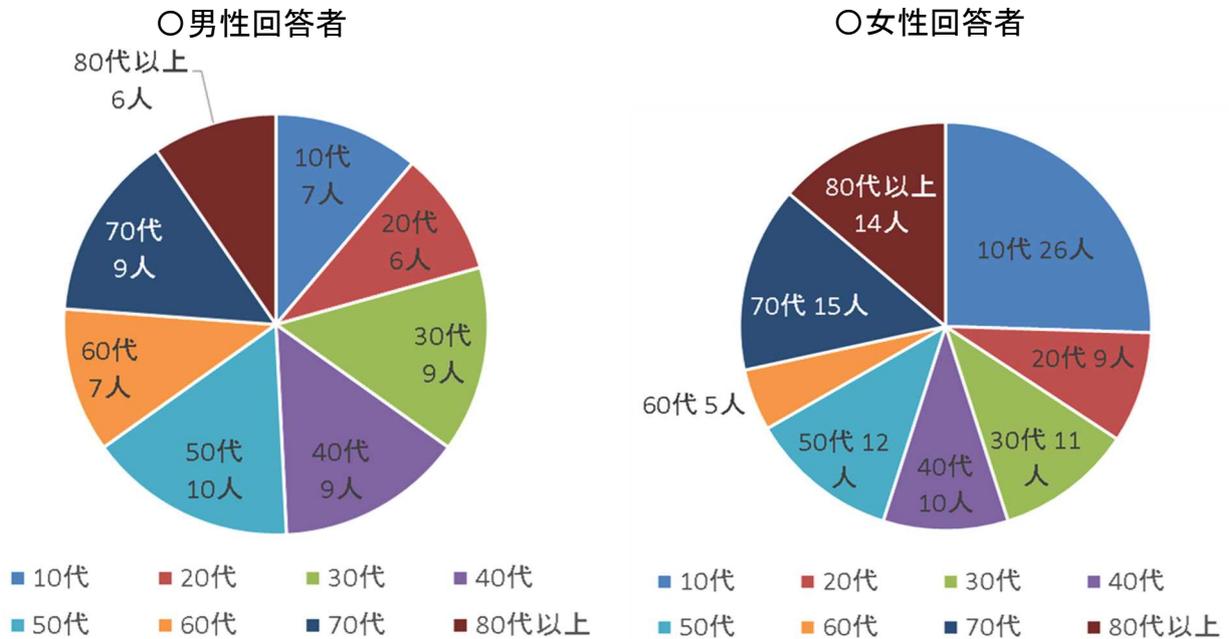
○高校別の過度の自動車利用を見直し、環境にやさしいまちにするために有効だと思う取組



3 圏域の公共交通利用者へのアンケート

計画を作成するにあたり、利用者に対する公共交通の利用実態や満足度等を調査し、より満足度の高い公共交通とするための参考とするため、実際に公共交通を利用されている方に対して、駅やバス停においてアンケート調査を実施しました。

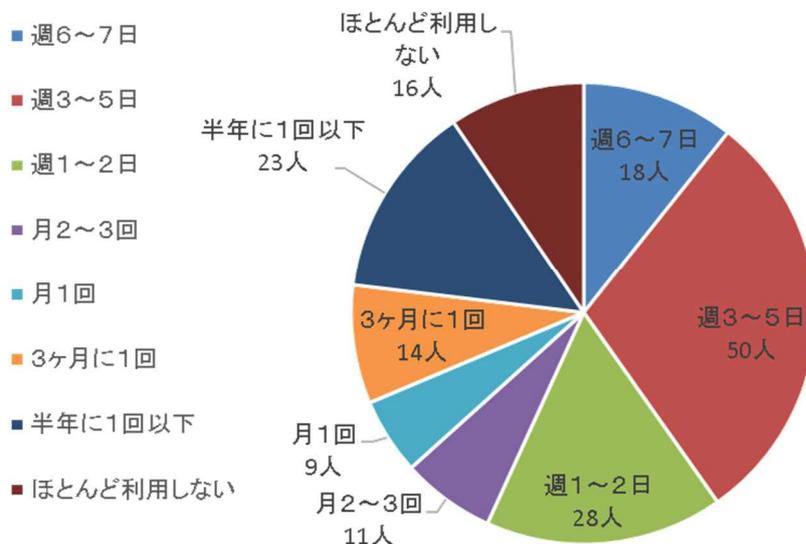
(参考) 回答者の属性



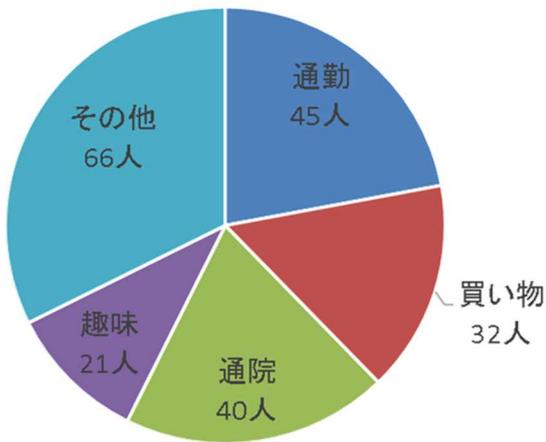
(1) 公共交通利用者の利用状況

半数以上の方が、週一回以上は公共交通機関を利用されており、主な利用シーンは通勤、買い物、通院となっている。その他意見では、通学や銀行などの生活に必要な手続きや健康づくりといった意見があった。利用手段では、鉄道とバスがほぼ半数ずつを占めている。また、運転免許証は半数以上の方が所持していないと回答している。運転免許証を返納された方の理由として多いのが、年齢や病気となっている。

○公共交通の利用頻度

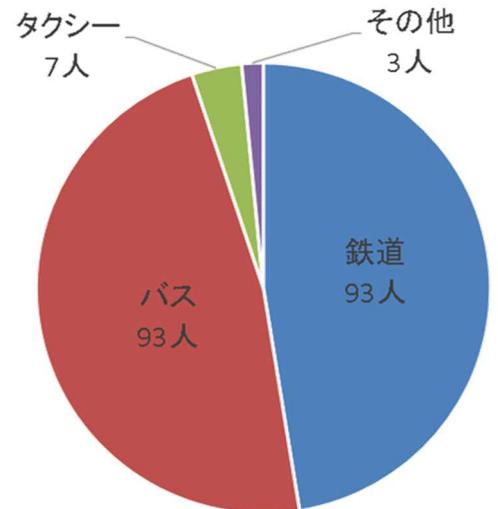


○公共交通の利用シーン



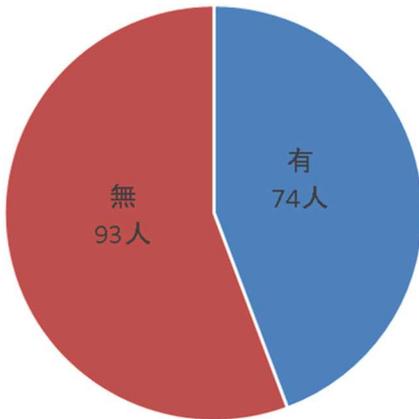
■通勤 ■買い物 ■通院 ■趣味 ■その他

○公共交通の利用手段



■鉄道 ■バス ■タクシー ■その他

○運転免許証の所持状況

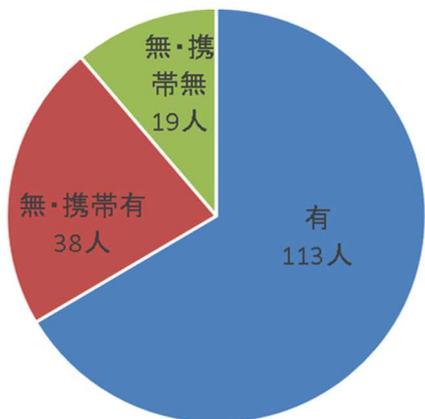


■有 ■無

(2) 利用者のスマートフォン保有、時刻表の確認媒体

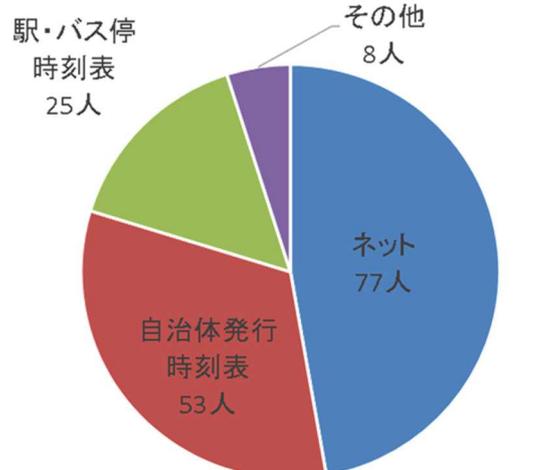
7割弱の方が、スマートフォンを保有しており、時刻表の確認もインターネットと回答する方が半数近くあった。

○スマートフォンの保有状況



■有 ■無・携帯有 ■無・携帯無

○時刻表の確認媒体



■ネット ■自治体発行時刻表 ■駅・バス停時刻表 ■その他



(3) 利用者の満足度

公共交通利用者は公共交通に対して、約6割の方が満足しており、おおむね満足度は高い状況にある。一方、よく利用されていることの裏返しとして、自由記述の意見の中では、鉄道、バスともに本数が少ないという回答が非常に多かった。そのほか、公共交通の利用をおススメできる点として、自由記述で回答していただいた中では、回数券や200円バス、200円レールについては好意的な意見や移動が楽、ゆっくりゆったりできるという移動に係る負担面が少ないといった意見が挙げられた。

○公共交通利用者の満足度

